

## 平成28年度 事業報告

当協議会は、「誰もが住み慣れた地域で、安全・安心に暮らしていただけること」を基本に、「支え合い助け合いのある顔の見えるまち かめおか」の実現を目指し、各事業に取り組んでいます。

今日、社会を取り巻く状況は、急速に進化する少子高齢化や社会・経済状況の大きな変化に伴い、地域や家庭で支え合い助け合う関係が希薄化し、孤独死やひきこもりなどの「社会的孤立」、子どもや高齢者の「虐待」などの痛ましい事象が顕在化しています。一方、経済状況につきましても緩やかな景気回復基調が続く公算にあるとされていますが、景気の動向は先行き不透明な状況であります。

このような状況の中で、従来からの福祉課題である「生活困窮」の他に、「社会的孤立」「虐待」など、既存の福祉制度等の狭間から生じる社会的課題に対しては、各地域の課題を把握し、地域及び関係団体の方々と協働して問題解決に取り組みました。

当協議会では地域福祉の推進をより一層進めるため、「人づくり」「絆づくり」「地域づくり」「基盤づくり」を4本の柱として、住民主体の活動を展開するため、「かめおか地域福祉活動計画」の見直しを行いました。

平成28年度の各事業につきましても、常に住民の皆様と同じ目線に立ち、自治会関係者、民生委員児童委員、社会福祉施設、福祉関係団体、ボランティア団体及び福祉関係者など多くの皆様、そして亀岡市をはじめ行政機関のご理解、ご協力及びご支援をいただき、地域福祉の更なる推進、利用者個々のニーズに応じたより質の高い介護保険サービス等の提供に向け各事業を実施しました。

また、平成28年度においては、社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人の制度等の改正が行われ、当協議会においても経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革に向け取り組みを進めたところであります。

平成28年度も当協議会の事業推進のため、多くの市民の皆様から尊い寄附金・寄付の品々、また、市民福祉のつどい開催における協賛金等をいただき心から厚くお礼申し上げます。

以下、平成28年度の各事業につきましても、その概要を報告します。

# 平成28年度 事業概要

## 1. 法人運営

平成28年度も急速な少子高齢化や核家族化などの影響を受け、地域コミュニティに大きな変化がある中、地域の多様な福祉ニーズに対して、効果的に事業を実施するために、地域福祉を推進する社会福祉法人として、安定的な財源確保を図りながら法人運営の基盤強化に努めました。

当協議会の運営・財政基盤である会費につきましては、人口増加が見込めない厳しい状況の中で、多くの市民、企業及び各種団体の方々にご理解、ご協力をお願いし取り組みを行ったところ、総額9,953,650円のご協力をいただきました。

寄付金関係につきましては、一般寄付と指定寄付合わせて総額2,374,866円の寄付金及び多くの皆様から物品のご支援を賜りました。

また、平成28年度からの新たな取組みとして、ホームページへのバナー広告掲載を積極的に進め9件申込みを受け、賛同いただいた事業所や商品の紹介を行いました。

なお、当協議会の活動を多くの市民の方々へ周知するため、各種事業・行事の開催などにつきまして、積極的にホームページ・社協かめおか等で広報活動を行いました。

## 2. 地域福祉推進事業

前年度同様、経済・雇用状況に好転が見られない中で、市民生活を支える生活福祉資金などの貸付相談をはじめ、くらしのサポートサービスや福祉サービス利用援助事業に積極的に取り組みました。

### (1) くらしのサポートサービス事業

市民の参加と協力によるボランティア会員により、公的な福祉サービスの利用が困難な世帯へ軽易な介助や家事援助などのサービスを有償で提供しており、年度末利用者数は60名（前年度比△15名）となりました。

### (2) 生きがい活動支援通所事業

介護認定を受けていない65歳以上の高齢者の生きがいづくりの一環として、曾我部町で日常生活動作訓練や趣味活動による交流の場を提供することにより、心身の健康保持に努めました。活動回数は48回で延利用人数は454人（前年度比+69人）となりました。

### (3) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力の不十分な方が地域で自立した生活を送れるよう、当協議会専門員及び生活支援員が契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の支援を行いました。年度末利用者数は40名で、前年度と比較し6名減少しました。

また、活動回数も利用者個々の状況により、年間延べ1,147回（前年度比△76回）と減少しましたが、お一人ひとりの抱える課題が重層かつ複雑化してきており、1件に関わる時間は増加傾向となっています。

### (4) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯、障害者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにすることを目的とし、各地域の民生委員児童委員の方々と連携し資金貸付けを行いました。

近年の経済・雇用状況が改善する中で、生活福祉資金の相談件数・貸付件数は減少傾向にあります。平成28年度については総合支援資金・福祉資金・教育支援資金合わせて計34件、総額15,187,000円（前年度比△20件4,879,000円減）の貸付となりました。

### (5) 福祉金庫資金貸付事業

市民を対象に、自立更生が可能な世帯、特に必要と認める要援護世帯などに少額の資金を貸付けることにより、生活の安定に寄与し社会福祉の増進を図ることを目的とした当協議会独自の貸付制度です。平成28年度の福祉金庫貸付実績は合計8件で、総額160,000円（前年度比△2件30,000円減）の貸付となりました。

### (6) 地域支えあい事業（生活支援体制整備事業）

昨年度亀岡市から事業を受託する中で、市行政と連携をとり高齢者の実態調査、地域資源の把握、協議体研究会の設置、生活支援コーディネーターの選出、その他研修会への参加等取り組みました。

#### ①高齢者の実態調査

亀岡市の調査意向に基づき、蕨田野・吉川及び大井・千代川地域を対象に250件を訪問調査しました。集計結果については、亀岡市により今後の継続調査を含め必要なデータを集計されます。

## ②地域資源の把握

地域サロン 33 ヶ所の他、自治会や社協ボランティア情報、市民活動団体、市内企業等からの新たな情報 49 件を加えた地域まちづくり資源マップを作成しました。

## ③協議体研究会の設置

市民が主体となる自主的な学習会を「支え合い、助け合う 共生のまちづくりフォーラム in 亀岡」参加者に呼び掛け行いました。

6 月 19 日開催の「支え合い、助け合う 共生のまちづくりフォーラム in 亀岡」には約 350 名の参加がありました。

学習会については、10 回開催し 277 名の参加がありました。

## ④生活支援コーディネーターの選出

京都社会福祉士会と協議を行う中で、当初予定された業務内容に対して現実的には対応が困難であることが確認されました。今後も引き続き生活支援コーディネーターの選出に向けた取り組みを進めていきます。

## ⑤その他研修会への参加

生活支援体制整備事業を推進する上で必要な研修会(12回)に職員が参加しました。

研修会の他、亀岡市と週 1 回のペースで事業打合せを行うとともに、協議体研究会の事業ごとにさわやか福祉財団担当者と随時打合せを行いました。

## (7) 福祉生活課題解消支援事業

前年度に地域における福祉生活課題を把握することを目的に実施いたしました『くらしの状況と意識に関する調査』の分析結果を、住民向け講座にて、地域住民の困り事への対応を考えていただく基礎資料として活用しました。

## (8) 社会的孤立防止対策見守り活動事業

地域から孤立していると思われる人の発見、相談支援、見守り等を中心とした個別支援と、社会的孤立防止対策としての地域の理解促進を目的に平成 26 年度から事業を展開しています。個別支援における相談件数は 35 件で、一方の側面での支援のみならず、他にも生活しづらい課題があるのではないかという視点で相談を実施するとともに、出張相談窓口を亀岡駅近くの事業所にて開設しました。

また、福祉の出前講座として、小さい単位で地域に出向き地域住民の皆さんやサロン参加者へ理解をしてもらうための講座を開催し、通報活動等への協力を求めました。これらの取組みの他地域の不動産会社や配食業者などの事業者へ出向き見守り通報活

動等への協力を求めました。

さらに、モデル地区の民生委員児童委員の方を対象に困難な事例に関する情報の共有、解決に向けて連携が取れるよう協力を求めました。また、研修を受けたサポーターが対象者宅を訪問し、傾聴、情報提供活動を行いました。

昨年度に引き続き「ひきこもりに関する調査・支援」を行い、ひきこもりに悩むご家族の方を対象にした家族教室を5回シリーズで開催すると同時に個別相談にも応じる体制を整えました。

### (9) 福祉用品貸出事業

介護用品等貸出事業として、介護用品などを市民の日常生活の維持に供するため、ベッド22件（前年度比△14件）、車イス111件（前年度比+9件）の貸出を行いました。

また、地域で実施されるサロン活動、子ども会、地区社会福祉協議会、福祉協力校等への支援を目的に、合計で130件（前年度比+36件）のレクリエーショングッズや備品貸出を行いました。

## 3. 福祉コミュニティ推進事業

### (1) 地区社会福祉協議会の推進及び支援

地区社会福祉協議会は市内12地区で組織されており、地区社協会長会を開催するとともに、研修会への参加促進や助成金支援等、各地区社会福祉協議会の活動支援を積極的に行うとともに、設立されていない地区につきましても、引き続き地域のニーズを把握し、地域の実情に応じた組織づくりへの支援を行いました。

### (2) 地域サロン活動の推進

サロン活動とは、生きがい活動と元気に暮らすきっかけをつくり、地域の見守り活動も兼ね、地域住民のつながりを深める活動であり、各地域ではサロン活動が活発に行われ広がりをみせています。年間を通じての随時訪問や研修・交流会を実施し支援を行いました。

### (3) 小地域福祉活動の推進

一人暮らし高齢者世帯等の戸別訪問や、サロン活動による見守り等によって高齢者の孤立・孤独を防ぎ、安心・安全な地域づくりを目指す活動の強化（拡充）を図る

ため、自治会、地区社協等計 20 団体（9 自治会、5 地区社協、老人クラブ・NPO 等 6 団体）に訪問見守りボランティア強化事業の支援助成を行いました。

#### 4. ボランティア活動支援事業

ホームページ、社協かめおか等で、ボランティア活動の情報提供によるボランティア団体への支援とともに、活動を推進するための講座を開催しました。また、昨年度に見守り、相談支援の必要な人に対して寄り添い支援を行う“社協寄り添いサポーター”の養成を行いました。今年度はその研修を受けたサポーターが、対象者宅を訪問し、傾聴や情報提供活動を行いました。

また、ボランティアグループ、個人ボランティア、サロン団体、地区社協、自治会の方を対象とした「地域活動者研修・交流会」や「ボランティア活動支援講座」を開催し活動発表やグループワーク等を通じてこれからの地域における支え合いづくりやボランティア活動について考える有益な機会となりました。

空き缶のプルタブやペットボトルのエコキャップ、使用済切手やプリペイドカード等の“集めておくるボランティア”活動は、多くの市民の皆さんのご協力により寄附をいただき、プルタブで 678.9 キロ（昨年度比+88.6 キロ：800 キロで車椅子 1 台と交換）、エコキャップも開発途上国のポリオワクチン代（キャップ 800 個でワクチン 1 人分）として寄附するため 1187.7 キロ（昨年度比△259.4 キロ）を収集することができ、それぞれ再資源化業者へ送付しました。

また、災害ボランティアセンターについては、京都府総合防災訓練に参加し避難所開設の訓練や講演会の開催の他年間を通じ各関係機関と連携し、防災・減災に向けた取組みを行いました。熊本地震が発生した際には、西原村災害ボランティアセンターに職員 2 名を派遣し支援を行いました。

#### 5. 福祉教育

福祉協力校の指定を受けた市内小中学校において今年度は 11 校が、各学校での福祉活動をサポートするため、障がい者・高齢者の方への理解を目的とした福祉ボランティア体験事業を実施するとともに、中学生及び高校生を対象とした社会福祉体験学習事業を実施しました（参加者数計 12 名：すべて高校生）。

## 6. イベント募金

市全体を対象に実施されるイベント（亀岡光秀まつり等）と市内各地域で行われるイベント（夏祭りや世代間交流イベント等）に社協として参加させていただき、各イベントにおいて、綿菓子やポップコーン等を販売し、売上金額から材料費を差し引いた額を募金といたしました。募金の使い道は、共同募金の助成金として次年度に還元されることとなり、「亀岡のまちを良くするための地域福祉活動」や「各地域の課題解決事業」に活用していただきます。

## 7. 各種団体への支援

### ① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における地域福祉・在宅福祉の増進に寄与するため、各施設に関わる諸問題について協議し、各施設間相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。

### ② 亀岡市母子寡婦福祉会

母子家庭や寡婦の皆さんが安心して暮らせる福祉社会を目指し、同じ立場の親子の「つながり」の輪が広がる諸活動への支援を行っています。

### ③ 亀岡ボランティア連絡協議会

市内におけるボランティア活動の効率的、効果的な推進のために亀岡市ボランティアセンターと協働して、ボランティア、ボランティアグループおよび福祉施設相互の緊密な連絡調整を行っています。また、組織的に市民へのボランティア活動の啓発を行うなど、ボランティア活動ならびに社会福祉の向上に努めることを目的として活動しています。

### ④ 亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域 53 の老人クラブが加盟する約 2,700 名の組織であり、その事務局として、年間を通じて行われる様々な事業の開催や、事業活動・団体運営の援助等を行っています。

### ⑤ 亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障害児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開し、障害児者福祉への理解と発展のため積極的に取り組まれています。会員は約 250 家族で、会議への出席や事業支援を行っています。

## 8. 介護保険事業

介護サービス事業者として、通所介護・訪問介護・居宅介護支援事業の3事業を行い、介護報酬引き下げ等の影響により、厳しい事業運営が懸念されましたが、「中重度の利用者を受け入れる体制づくり」や「利用者の視点に立ったきめ細やかなサービスの提供」に心がけ、中重度加算を含めた健全な事業運営に努めた結果、介護保険収入は総額85,347,978円（前年度比△5,411,172円）となりました。

### (1) 訪問介護（ホームヘルプ）事業

介護保険における要支援者や要介護者宅に訪問介護員（ヘルパー）が訪問し、入浴・排泄・食事などの介助や日常生活上の支援を行い、年間利用者人数は596名（前年度比△58名）となりました。

### (2) 通所介護（デイサービス）事業

介護報酬引き下げに対応するため、今年度から中重度ケア体制加算の算定を行い、中重度の利用者を受け入れる体制を整えました。介護保険における要支援・要介護認定の利用者へ、送迎・入浴・食事・健康チェック・外出やレクリエーションなどを通じて、心身の機能維持・向上と日々介護する家族の精神的・身体的負担の軽減となる様々なサービスを実施するとともに、保育園児や子育て支援センターとの交流、調理やクラフト、グループ体操等サービス内容の充実に努め、1日平均19名の方に利用していただきました。

### (3) 居宅介護支援（ケアプラン作成）事業

介護保険における要支援・要介護認定の相談援助、ケアプラン作成などを行い、利用者や家族等の様々な状況やニーズに応じたきめ細かな介護サービスを提供できるよう関係機関等との連絡・調整を行った結果、ケアプラン作成件数は昨年度と比べ大幅に増え年間888件（前年度比+15件）でした。また、亀岡市の高齢福祉サービスの利用等に関しての在宅介護支援も行っており、相談件数は電話、訪問等を含め65件（前年度比+10件）でした。

## 9. 障害者自立支援給付事業

### (1) ホームヘルプ事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業として、障がい者の方が自宅で安心・安全に生活を送ることができるよう、訪問介護員（ヘルパー）が入浴・排泄・食事などの

支援を行い、専門機関と連絡・連携を図りながら利用者個々の状況に応じた適切なサービスの提供に努めました。その結果、年間利用者数は 361 名（前年度比△2 名）とわずかに減少し、収入は 31,399,632 円（前年度比△2,142,900 円）となりました。

## 10. 子育て支援事業

### （1）子育て支援事業

子育て家庭が安心して子育てができる環境を整え、家庭における子育て力を高めるため、ひろば事業(1日平均80名利用)、つどい事業(年間76回開催)、相談事業(「おひさま」:年間527件〔前年度比+146件〕の相談に対応)の各種事業や情報提供を行いました。特に、相談事業については、利用者支援事業として専門員を配置したため、きめ細かな対応ができ、相談件数が大幅に増えました。また、地域における子育て支援として、つどい事業の一環である『かめおかっこ出前ひろば』は、民生委員・児童委員や主任児童委員をはじめ地域の方々のご協力を得て5箇所で開催し、各地域の高齢者の方々や小学生と交流する機会も増える中、地域に根付いた事業として定着しています。今年度は延べ10回の開催で、参加者は319名（前年度比△174名）でした。

今年度から新たに妊婦からの子育て支援として、妊婦来館推進事業を保健センターと連携し行いました。妊婦さんにプレゼントするおもちゃ（にぎにぎ）の製作には地域の方やセンター利用者の有志の母親、ファミリー・サポート・センターまかせて会員など多くの方々に関わっていただき、事業への理解が深まり協力者が増えています。今年度の登録者は45名となっています。

これらの子育て支援事業の他に情報誌「かめおかっこひろば おたより」などを通じた情報発信や子育てサークル・サロンの支援、チャイルドシート貸出事業を行っています。

なお、ふれあいルーム開館日数は延べ306日で、来館者数は延べ24,498名（前年度比+962名）となりました。

### （2）ファミリー・サポート・センター事業

学童保育時における迎え、保育園・幼稚園の帰宅後の預かりや習い事の送迎など、仕事と育児を両立されている家庭への支援として、年間2,516件（前年度比+216件）の支援活動を行いました。

また、まかせて会員講習会も年11回開催し、子どもの安全や身近な事故の応急手当

等について研修を行ったところ、延べ 161 名（前年度比+29 名）の会員が参加し、日常の活動に役立てていただきました。

## 11. 市民福祉のつどい

平成 28 年 10 月 23 日、ガレリアかめおかとふれあいプラザにおいて「つながり合おう地域の輪 かめおかの輪」をテーマに、『第 29 回市民福祉のつどい』を当つどい実行委員会の主催により、「ふれあいフェスティバル 2016」（第 35 回亀岡市障害者福祉大会）と合同で開催しました。

当日は約 3,000 名の世代を超えた人々が来場されました。会場では福祉に関する相談会や災害ボランティアセンターコーナー、デイ部会合同作品展、アトラクション等多彩な催しにより交流を図りました。

なお、チャリティーバザー・模擬店の売り上げの一部を共同募金会へ寄付しました。

## 12. 共同募金事業

赤い羽根共同募金については、各町自治会を中心に、市民の方にご協力いただいています。

より一層、市民の方にご理解とご協力いただきくため、イベント募金の他に「赤い羽根共同募金」募金機能付き自動販売機を市内 3 ケ所に 5 台を設置しています。

市民の方々にご協力いただいた募金やイベント募金、自動販売機を通じた募金については、福祉活動事業を実施する団体へ助成しました。

助成にあたっては、ホームページや社協かめおかで募集を行い、事業内容を企画調整部会で審査し、76 団体、合計 4,845,111 円の配分金を助成しました。

## 13. 歳末たすけあい運動

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、平成 28 年 12 月 1 日から亀岡市自治会連合会をはじめ各種団体のご協力のもと、「みんなで支えあう あったかい地域づくり」をスローガンに実施しました。運動期間中の 12 月 3 日(土)には、各団体の協力により市内 16 箇所街頭募金を行い、また、各自治会の協力による地域募金なども合わせ、総額 8,164,509 円の歳末募金を集めることができました。

歳末募金の使途につきましては企画調整部会で審議し、寝たきり・認知症高齢者、重度障がい児者、交通遺児、被爆者、公害患者並びに生活困窮世帯の方々へ在宅見舞金として合計 1,001 件、5,005,000 円を支給するとともに、物品寄付としていただいたタオル・石鹸・ティッシュペーパー等を市内福祉施設 19 箇所へ配分しました。

さらに、身近な地域でのひとり暮らし高齢者の方などを対象とする援助活動として、各町自治会、各地区社協及び民生委員児童委員協議会の皆様のご協力で実施した年末年始事業に、合計 2,248,000 円を助成しました。

# 平成 28 年度 諸 事 業 の 詳 細

## 1. 法人運営

### (1) 会議の開催状況

#### ア. 理事会

年 月 日	場 所	出席人数	案 件
第 1 回 平成 28 年 5 月 26 日(木)	ふれあい プ ラ ザ	1 2 名	1. 平成27年度事業報告について 2. 平成27年度社会福祉事業決算について 3. 平成27年度公益事業決算について 4. 規程等の一部改正について 5. 評議員の同意について
第 2 回 平成 28 年 11 月 30 日(水)	ふれあい プ ラ ザ	1 2 名	1. 社会福祉法人制度改革に伴う定款変更及び関連規程等の変更について
第 3 回 平成 29 年 1 月 30 日(月)	ふれあい プ ラ ザ	1 1 名	1. 平成28年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 平成28年度公益事業資金収支補正予算について 3. 評議員選任・解任委員について 4. 評議員候補者の推薦について 5. 規程及び規則の一部改正について
第 4 回 平成 29 年 3 月 28 日(火)	ふれあい プ ラ ザ	1 0 名	1. 平成28年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 規程の一部改正について 3. 平成29年度事業計画について 4. 平成29年度社会福祉事業資金収支予算について 5. 平成29年度公益事業資金収支予算について

#### イ. 評議員会

年 月 日	場 所	出席人数	案 件
第 1 回 平成 28 年 5 月 26 日(木)	ふれあい プ ラ ザ	3 1 名	1. 平成27年度事業報告について 2. 平成27年度社会福祉事業決算について 3. 平成27年度公益事業決算について 4. 理事の選任について 5. 監事の選任について
第 2 回 平成 28 年 11 月 30 日(水)	ガレリア 研修室 3・4	2 6 名	1. 社会福祉法人制度改革に伴う定款変更及び関連規程等の変更について

第3回 平成29年 1月30日(月)	ガレリア 2階 研修室	28名	1. 平成28年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 平成28年度公益事業資金収支補正予算について
第4回 平成29年 3月28日(火)	ガレリア 2階 研修室	30名	1. 平成28年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 平成29年度事業計画について 3. 平成29年度社会福祉事業資金収支予算について 4. 平成29年度公益事業資金収支予算について 5. 監事の選任について

ウ. 部会

◎企画調整部会

年月日	場所	出席人数	案 件
第1回 平成28年 7月8日(金)	ふれあい プラザ	8名	1. 平成28年度共同募金配分金助成事業の助成団体・審査について 2. 平成28年度社会福祉協議会会員(会費)募集について 3. その他
第2回 平成28年 9月13日(火)	ふれあい プラザ	6名	1. 平成28年度歳末たすけあい運動について 2. その他
第3回 平成28年 12月12日(月)	ふれあい プラザ	7名	1. 平成28年度歳末たすけあい運動募金の配分について 2. その他
第4回 平成29年 2月24日(金)	ふれあい プラザ	7名	1. 平成28年度歳末たすけあい運動募金の配分実績について 2. 平成29年度共同募金配分金助成事業について 3. その他

◎ボランティア福祉部会

年月日	場所	出席人数	案 件
第1回 平成28年 9月14日(水)	ふれあい プラザ	6名	1. 亀岡市ボランティア基金助成金の交付決定について

◎共同募金配分金助成事業 審査・検討委員会

年 月 日	場 所	出席人数	案 件
第 1 回 平成 28 年 7 月 4 日(月)	ふれあい プ ラ ザ	6 名	1. 委員長および副委員長の選出について 2. 平成 28 年度 共同募金配分金助成金申請 概要、審査の方法説明 3. 審査

エ. 監査

年 月 日	場 所	出席人数	案 件
平成 28 年 5 月 13 日(金)	ふれあい プ ラ ザ	1 0 名	1. 平成27年度社会福祉事業及び公益事業決 算の監査

オ. 正副会長会

年 月 日	場 所	出席人数	案 件
第 1 回 平成 28 年 5 月 10 日(火)	ふれあい プ ラ ザ	8 名	1. 平成27年度事業報告について 2. 平成27年度社会福祉事業及び公益事業決 算について 3. 規程等の一部改正について 4. 選出母体役員変更等に伴う理事、監事及 び評議員予定者の報告について
第 2 回 平成 28 年 9 月 30 日(金)	ふれあい プ ラ ザ	6 名	1. 「平成28年度市民福祉のつどい」に伴う 表彰及び感謝状について 2. 表彰規程について
第 3 回 平成 28 年 11 月 21 日(月)	ふれあい プ ラ ザ	8 名	1. 社会福祉法人制度改革に伴う定款変更及 び関連規程等の変更について
第 4 回 平成 28 年 12 月 21 日(水)	ふれあい プ ラ ザ	5 名	1. 次期評議員及び次期役員の選出等につい て
第 5 回 平成 29 年 1 月 24 日(火)	ガレリア かめおか	8 名	1. 平成 28 年度社会福祉事業・公益事業補正 予算について 2. 評議員選任・解任委員会について 3. 【新】評議員候補者の推薦について 4. 規程及び規則の一部改正について
第 6 回 平成 29 年 3 月 7 日(火)	ふれあい プ ラ ザ	3 名	1. 平成 29 年度 人事体制について 2. その他
第 7 回 平成 29 年 3 月 16 日(木)	ふれあい プ ラ ザ	6 名	1. 平成 28 年度 社会福祉事業補正予算につ いて 2. 規程の一部改正について

			3. 平成 29 年度 事業計画について 4. 平成 29 年度 社会福祉事業・公益事業予算について 5. 監事の選任について
--	--	--	---

(2) 社協組織の強化

ア. 社協会員・会費の年度推移

年 度	会 員 数 (人)	会 費 (円)
平成 26 年度	17,218	10,029,310
平成 27 年度	15,500	9,956,950
平成 28 年度	15,815	9,953,650

【会費区分別内訳】

町 別 施設区分	賛 助 会 員				一 般 会 員			その他	会員数	会 費 額 円	27年度	
	D 20	C 10	B 5	A 3	C 2	B 1	A 0.5				会員数	会 費 額 円
亀岡東部地区	0	0	0	0	0	50	1,473	2	1,525	786,750	1,523	788,000
亀岡中部地区	0	0	1	0	2	4	1,077	12	1,096	554,700	1,078	563,350
亀岡西部地区	0	0	0	1	0	2	632	240	875	371,000	987	461,000
東別院町	0	0	0	0	0	207	197	0	404	305,500	398	304,400
西別院町	0	0	0	0	0	0	231	0	231	115,500	238	119,000
曾我部町	0	0	0	1	1	7	870	0	879	447,000	878	451,500
吉川町	0	0	0	0	0	14	140	32	186	93,600	188	95,000
蕨田野町	0	0	1	0	1	143	512	0	657	406,000	688	422,500
本梅町	0	0	0	0	1	21	405	1	428	227,000	417	216,000
畑野町	0	0	0	0	0	32	177	1	210	120,700	172	95,200
宮前町	0	0	0	2	2	365	3	0	372	376,500	378	363,000
東本梅町	0	0	0	0	0	0	184	0	184	92,000	178	89,000
大井町	0	0	0	0	0	51	1,337	151	1,539	763,600	1,531	744,900
千代川町	0	0	0	0	1	185	921	61	1,168	662,050	1,269	650,500
馬路町	0	1	0	1	3	324	37	0	366	361,500	381	373,000
旭町	0	0	0	0	0	47	172	0	219	133,000	214	130,000
千歳町	0	0	0	0	0	244	55	40	339	279,500	328	271,000
河原林町	0	0	0	0	0	56	184	0	240	148,000	244	154,500
保津町	0	0	0	1	0	276	215	0	492	386,500	512	424,500
篠町	0	0	0	1	2	120	1,312	1,349	2,784	1,000,450	1,804	977,800
東つつじヶ丘	0	0	0	0	0	93	243	1	337	214,600	367	201,000
西つつじヶ丘	0	0	0	0	0	153	390	0	543	348,000	609	351,500
南つつじヶ丘	0	0	0	1	1	5	373	50	430	207,200	464	227,300
小 計	0	1	2	8	14	2,399	11,140	1,940	15,504	8,400,650	14,846	8,473,950
その他	2	26	70	44	65	39	37	2	283	1,001,000	238	931,000
合 計	2	27	72	52	79	2,438	11,177	1,942	15,787	9,401,650	15,084	9,404,950
施設会費	社会福祉施設								13	360,000	13	360,000
	保育所・園								15	192,000	15	192,000
	合 計								28	552,000	28	552,000
会費合計									15,815	9,953,650	15,112	9,956,950

※ 施設会費には、京都府社会福祉協議会会費分（368,000円）を含む。

## イ. 寄付者名簿（順不同、敬称略）

○一般寄付

（単位：円）

町名	寄付者名	金額	付記
徳島県	湯浅 純子	20,000	地域福祉事業
	森田 清信氏 喜寿を祝う会	49,000	々
本町	松家 喬（亡父 供養のため）	100,000	々
河原町	大槻 英逸	20,000	高齢者支援事業
荒塚町	株式会社親愛 代表取締役 安達卓志	50,000	地域福祉事業
曾我部町	亀岡山野草を守る会	3,000	々
宮前町	人見 徳康	10,000	高齢者支援事業
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘青少年育成協議会	5,000	子育て支援事業
千代川町	山田 香保子	1,000	地域福祉事業
	亀岡友油会	76,676	々
東京都	倉橋 勝	50,000	々
大井町	株式会社 三煌産業 安全協力会	156,000	々
保津町	真継 たき江	10,000	高齢者支援事業
追分町	イマイグループ安全衛生協力会・ 縁乃会	209,874	々
古世町	柴田 治人	3,000	々
大井町	大井町ゴルフ協会	50,000	地域福祉事業
余部町	亀岡地区 更生保護女性会	20,000	々
宮前町	人見 徳康	10,000	高齢者支援事業
鹿児島県	湯之上 孝司	3,000	地域福祉事業
南丹市八木	株式会社 親愛 安達 卓志	50,000	々
川東4町	S44年 高田中学校 卒業生	6,261	々
下矢田町	和田 晃一	10,000	々
馬路町	中澤 繁	3,000	高齢者支援事業

町名	寄付者名	金額	付記
篠町	アルプラザボウル	10,000	地域福祉事業
追分町	亀岡市ボウリング協会 会長 三宅一宏	10,000	々
北古世町	庄田 駒美	100,000	々
篠町	50周年記念矢田石油(株)・(有)モ バイルネット矢田 代表取締役 矢田 恭士	1,000,000	高齢者支援事業
千代川町	山田 香保子	1,000	障害児支援
大井町	(株)三煌産業 安全協力会	158,000	地域福祉事業
畑野町	城井 理香	5,000	々
匿名 (7件)		65,492	
合計	37件	2,265,303	

○指定寄付

(単位：円)

寄付者名	金額	付記
第29回市民福祉のつどい 模擬店等参加団体(計5団体)	59,563	第29回市民福祉のつどい 実行委員会へ
亀岡JCじゃがいもクラブ	50,000	青葉学園へ
合計	2件	109,563

寄付者名	内容	付記
亀岡農家組合 組合長 道脇 和博	新米 30kg×10袋	青葉学園へ
匿名	米 30kg	々
合計	2件	

## ○寄附物品

町名	寄付者氏名	寄附物品
余部町	城西小学校 ボランティア委員会	ブルタブ 25.5 kg エコキャップ 57.3 kg
西別院町	原田 八重子	ブルタブ 800 g
篠町	亀岡電子株式会社	エコキャップ 19 kg
千代川町	星栄住設株式会社	ブルタブ 16.5 kg
下矢田町	小野 圭子	ブルタブ 400g エコキャップ 2.8kg
高槻市	大阪医科大学 (運送 京都熱学)	ブルタブ 20kg
曾我部町	曾我部町自治会	ブルタブ 1.2 kg エコキャップ 5kg
畑野町	今西 多津子	エコキャップ 28.6kg
篠町	NALC 亀岡	ブルタブ 2.5 kg エコキャップ 7.3kg
東つつじヶ丘	藤村 喜久子	ブルタブ 1.6 kg
曾我部町	曾我部町自治会	ブルタブ 3.5 kg エコキャップ 2 kg
高槻市	大阪医科大学 (運送 京都熱学)	ブルタブ 10kg
安町	武内 きよ子	ブルタブ 400 g エコキャップ 3.5 kg
追分町	亀岡ライオネスクラブ	ブルタブ 5.3 kg
宮前町	株式会社イーエル・オカモト	ブルタブ 0.7 kg エコキャップ 8.5 kg
吉川町	吉川町自治会	ブルタブ 2.7 kg エコキャップ 6.1 kg
篠町	栗山 初美	電動ベッド1台 (介護機器貸出事業)
畑野町	今西 多津子	エコキャップ 3kg
西つつじヶ丘	ワルダ	ブルタブ 1 kg エコキャップ 7 kg
篠町	NALC 亀岡	ブルタブ 6.9 kg エコキャップ 7.8 kg
曾我部町	竹井 寛	エコキャップ 7.9 kg
余部町	城西小学校	ブルタブ 16 kg エコキャップ 29.2 kg
追分町	南桑土木建築株式会社	エコキャップ 1.7 kg
下矢田町	明田 禮三	電動ベッド1台 (介護機器貸出事業)
曾我部町	中部保育所 保護者会	エコキャップ 30 kg
宮前町	第二かめおか作業所	ブルタブ 35 kg
西つつじヶ丘	ワルダ	ブルタブ 0.8 kg エコキャップ 7.5 kg
船井郡京丹波町	土佐 勝美	ブルタブ 4.5 kg エコキャップ 40.4 kg

町名	寄付者氏名	寄附物品
南丹市八木町	国際ソロプチミスト 亀岡	プルタブ 450 g エコキャップ 10.1 kg 古切手 100 g
京都市西京区	水上 季見子	エコキャップ 3.3 kg
篠町	S A I W A I B r a i n s	プルタブ 500 g
穂田野町	(社) 亀岡青年会議所 理事長 木戸 庸介	プルタブ 3.7 kg
曾我部町	曾我部町自治会	プルタブ 2.5 kg エコキャップ 6 kg
安町	中野 久江	エコキャップ 3 kg
篠町	N A L C 亀岡	プルタブ 2.8 kg エコキャップ 12.5 kg
曾我部町	竹井 寛	エコキャップ 3.4 kg
高槻市	大阪医科大学 (運送 京都熱学)	プルタブ 30kg
曾我部町	曾我部町自治会	プルタブ 600 g エコキャップ 2.8 kg
西つつじヶ丘	ワルダ	プルタブ 1.2 kg エコキャップ 7 kg
吉川町	吉川町自治会	プルタブ 6.6 kg
東つつじヶ丘	高橋 章	プルタブ 2.3 kg エコキャップ 4.6 kg
曾我部町	竹井 寛	エコキャップ 4.5 kg
曾我部町	曾我部町自治会	プルタブ 7.6 kg エコキャップ 2 kg
高槻市	大阪医科大学 (運送 京都熱学)	プルタブ 10kg
西つつじヶ丘	ワルダ	プルタブ 3 kg エコキャップ 3.5 kg
曾我部町	中部保育所 保護者会	プルタブ 12.1 kg エコキャップ 13.9 kg 古切手
穂田野町	特別養護老人ホーム 第二亀岡園	プルタブ 23.7 kg
呉服町	鹿島 佳子	エコキャップ 3 kg
篠町	N A L C 亀岡	プルタブ 11.8 kg エコキャップ 11.4kg
穂田野町	社会福祉法人 青葉学園	エコキャップ 50 kg
曾我部町	竹井 寛	プルタブ 800 g エコキャップ 4 kg
千代川町	千代川小学校	エコキャップ 9 kg
追分町	南桑土木建築株式会社	プルタブ 700 g
古世町	塩見 幸子	未使用はがき 25 枚
西町	藤本 新一	プルタブ 9 kg エコキャップ 30.5kg

町名	寄付者氏名	寄附物品
船井郡京丹波町	郵便局夫人会 やまゆりの会 亀岡部会	雑巾 140 枚 ウエス
吉川町	吉川町自治会	プルタブ 4.5 kg エコキャップ 5kg
南丹市八木町	森田 正子	プルタブ 3 kg エコキャップ 1 kg
大井町	並河 暢夫	プルタブ 2.7 kg
千代川町	メディアス亀岡3番館 管理組合	プルタブ 3 kg
篠町	NALC 亀岡	プルタブ 5 kg エコキャップ 8.9 kg
曾我部町	中部保育所 保護者会	プルタブ 1.2 kg エコキャップ 21 kg
余部町	城西小学校 ボランティア委員会	プルタブ 6.7 kg エコキャップ 34.5 kg
大阪市	城井 喜美子	石臼
曾我部町	NPO 法人 青空ふれあい農園・ハーブ倶楽部	エコキャップ 0.6 kg
河原町	Men's Hair T・Kスタイル 川口 剛広	エコキャップ 4.9 kg
余部町	柴田 泰男	エコキャップ 4 kg
千歳町	野々村 絹子	プルタブ 0.8 kg エコキャップ 1.8 kg 使用済切手
曾我部町	曾我部小学校	プルタブ 10.7 kg
高槻市	大阪医科大学（運送 京都熟学）	プルタブ 10kg
吉川町	吉川町自治会	プルタブ 2.9 kg
下矢田町	石野 護	車いす 1 台（介護機器貸出事業）
南つつじヶ丘	南つつじヶ丘小学校	プルタブ 26.5 kg
旭町	人見 哲雄	プルタブ 19.5 kg
内丸町	洋裁サークル ピンクッション	プルタブ 1.2 kg エコキャップ 8.2 kg
曾我部町	竹井 寛	エコキャップ 6 kg
吉川町	佐藤 敏子	プルタブ 5.6 kg
曾我部町	曾我部町自治会	プルタブ 2.3 kg エコキャップ 4.5 kg
千代川町	メディアス亀岡3番館 管理組合	プルタブ 7 kg

町名	寄付者氏名	寄附物品
高槻市	大阪医科大学（運送 京都熟学）	プルタブ 10kg
穂田野町	穂田野小学校	プルタブ 4.8 kg エコキャップ 24.3 kg
安町	平成 28 年度 高齢者さわやか教室 受講生	アルミプルタブ 9.3 kg 古切手 476 g 使用済カード 403 枚 はがき 46 枚
千代川町	千代川小学校 美化・ボランティア委員会	エコキャップ 41.5 kg
西つつじヶ丘	ワルダ	プルタブ 2.3 kg エコキャップ 3.1 kg
畑野町	今西 多津子	プルタブ 400 g エコキャップ 1.8 kg
畑野町	今西 多津子	エコキャップ 4.6 kg
吉川町	吉川小学校	エコキャップ 4.2 kg
河原林町	郵政退職者共助会 京都北支部 亀岡班	プルタブ 1 kg 古切手
	匿名 2 件	自転車 1 台、 亀岡市 指定ごみ袋（緑・黄色）各 4 袋づつ・ ミニタオル・石鹸
	合 計	90 件

- ・切手、プリペイドカードは、知的障がい者を支援するため取扱機関へ送付しました。
- ・空き缶のプルタブは、平成 28 年度に 678.9 キロ（800 キロで車椅子 1 台と交換）を収集、エコキャップも開発途上国のポリオワクチン代（キャップ 800 個でワクチン 1 人分）として寄付するため 1,187.7 キロ収集し、それぞれ再資源化業者へ送付しました。

### (3) 広報活動

当協議会の事業や活動を市民に周知し、理解・協力を得るために広報活動を行いました。

#### ア. 広報紙「社協かめおか」の発行

発行部数 年5回 31,600部/1回

配布方法 自治会を通じたの全戸配布及び市内関係機関へ配布

#### イ. ホームページ

当協議会の活動を広く周知するための広報媒体としてホームページを開設し、活動内容や各種情報を掲載しました。

ホームページ・アドレス 亀岡市社会福祉協議会

<http://www.fukukame-net.or.jp/>

### (4) 名義後援

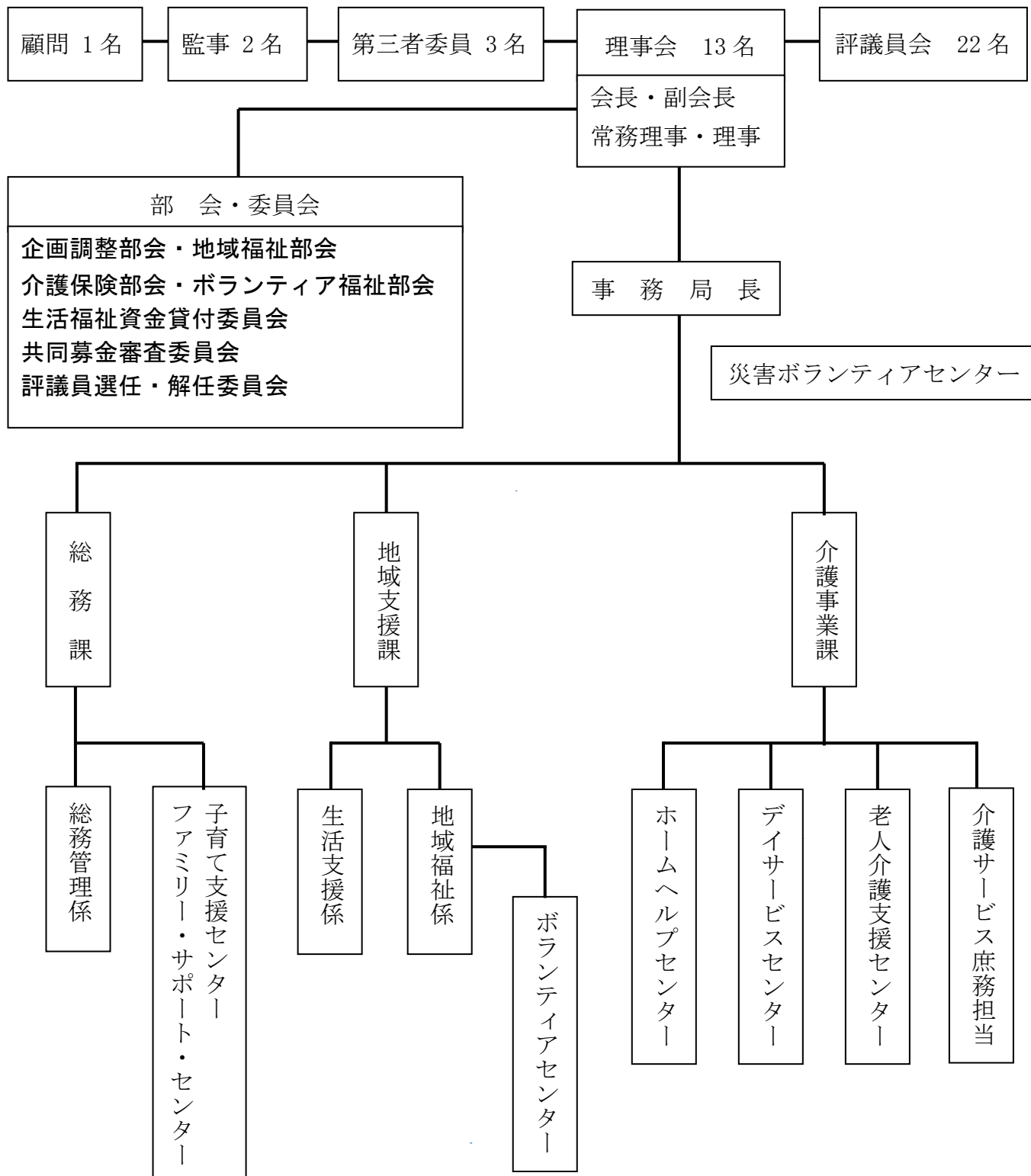
当協議会では、各種団体や福祉施設などが行う関連のある事業について、名義後援を行いました。

事業名	名義後援 件数
地域福祉事業	6 件
高齢者福祉事業	7 件
障害福祉事業	6 件
子育て支援事業	2 件
その他	2 件
合計	23 件

(5) 組織図 (平成 29 年度)

計 76 名 (正職員 19 名 嘱託職員 10 名 非常勤職員 3 名

登録ヘルパー15名 生活支援員 15 名 臨時職員 14 名)



## (6) 事務局体制の強化と役職員の資質向上

年間を通して、職員対象の人権研修、コンプライアンス研修、衛生管理研修、また各係・センターごとのスキルアップ研修等を積極的に実施いたしました。

外部研修においては、特に社会福祉法人の法改正、介護保険改正に伴う総合支援事業、職員の資質向上の研修に役職員対象へ参加を促しました。

## 2. 地域福祉推進事業

### (1) ぐらしのサポートサービス事業

#### 会員数

協力会員（実数） 32名（内、新規会員 1名）… 月平均活動者数 21名  
利用会員（実数） 60名（ ” 13名）… 月平均利用者数 33名

#### ○利用状況実数

- ・外出同行：受診の同行 3件 買い物の同行 2件
  - ・家事援助：掃除 34件 洗濯 4件 買い物 14件 調理 5件
- ※「掃除と買い物」の様に組み合わせての利用を含む。

#### ○年度別活動実績

年 度	利用人数(延人数)	協力人数(延人数)	活動回数
平成26年度	406人	295人	1,737回
平成27年度	468人	325人	1,929回
平成28年度	398人	263人	1,727回

#### ○協力会員研修・交流会

実 施 日 ：平成29年3月15日（水）

- 内 容 ：①研修 「コンプライアンス（法律と倫理の遵守）について」  
\*法律や社会規範を守り、社会的良心をもって行動することの意味を学んだ。
- ②研修 「活動していただく上での留意点について」  
\*様式変更のあった書類（活動報告等）と活動上の留意点について担当職員より説明を行った。
- ③交流会 「協力会員交流会」  
\*活動する中で対応や判断に迷ったこと等について参加者同士で共有し、情報交換する場とした。

会 場 ：ふれあいプラザ 世代間交流室

受 講 者 ：6名

(2) 生きがい活動支援通所事業

高齢者の生きがいや健康づくりの一環として、日常動作訓練や趣味、レクリエーションなどの機会を提供しています。

【実施場所】

- 曾我部いこいの家  
毎週水曜日（年末年始・祝日を除く）  
午前 10 時から午後 3 時まで

【実施内容】

生活指導、健康チェック、日常動作訓練、教養講座、手芸、趣味活動

○活動状況

	曾我部いこいの家		
	協力会員 (人)	活動回数 (回)	延利用 人数(人)
平成 26 年度	3	49	437
平成 27 年度	3	45	385
平成 28 年度	3	48	454

【事業成果】

平成 13 年度のスタートから継続して参加されている利用者もあり、毎週参加を楽しみにしていただいています。介護予防を目的としているこの事業の成果が表れています。

(3) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

【事業趣旨】

福祉サービスは、自らの意思と責任で、必要なサービスを選び、サービス事業者と対等な関係で契約を結ぶことが基本です。しかし、自分の判断能力に不安がある方は、例えばどんな福祉サービスがあるのか、どうすれば福祉サービスを利用できるのか、さまざまな場面で判断に迷い、適切なサービスを利用できない場合があります。また、毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに困ったり、訪問販売による過剰な物品の購入などのトラブルに巻き込まれる場合も想定されます。

福祉サービス利用援助事業は、そうした方々の個人の尊厳と利用者自身の意思決定を保持し、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理を社会福祉協議会が支援することで、誰もが地域で、“いきいき”と“安心して”暮らせるようにお手伝いする事業です。

【支援の内容】

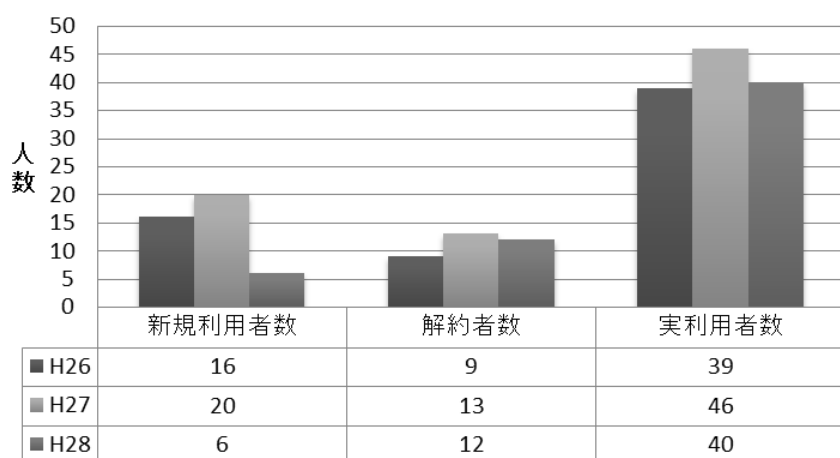
- 福祉サービス利用の支援
  - ・福祉サービスについての情報提供
  - ・福祉サービスの利用手続き援助（申込手続きの同行、代行）
  - ・福祉サービス利用料の支払い等
- 日常的な金銭管理の支援
  - ・年金や福祉手当などの受領手続き
  - ・税金・公共料金・医療費・光熱費・家賃などの支払い

- ・日常生活に必要な預貯金の払い戻し、預け入れ、解約の手続き
- ・日常生活支援に必要な通帳・印鑑の預かり
- ・その他、書類等の預かり

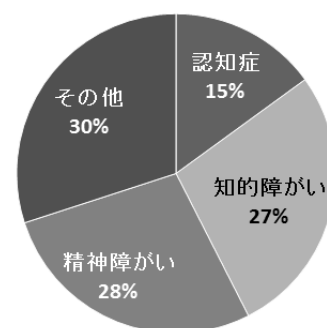
### 【活動実績】

年 度	活 動 実 績				相談状況 (件)
	生活支援員 (人)	専門員 (人)	利用人数(人)	活動回数 (回)	
平成26年度	18	2	39	966	34
平成27年度	21	2	46	1223	31
平成28年度	18	3	40	1147	23

### 新規・解約・実利用者数 推移



### 実利用者障がい別内訳



平成28年度は新規契約数や活動回数は前年度より減少しましたが、課題を重層的に抱える方（世帯）への支援に幅広く対応できました。また、市内介護保険事業所へ本事業の制度説明や事例報告等をお話しし、積極的に広報活動を行うことができました。

本事業契約者（ご利用者）が地域との繋がりを再構築できるよう、必要時に担当の民生委員と連携を図り、本事業契約者（ご利用者）が地域で安心して生活できるよう支援をしました。

そして、当事業担当職員が京都府社会福祉協議会実施の「京都府域における権利擁護・成年後見制度のあり方に関する検討委員会」において委員として推薦され参加し、本市の本事業の現状や課題等を発表するなど、府域においても一定の評価をいただくことができました。

### (4) 生活福祉資金貸付事業

#### ○総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えておられる方に、経済的自立を支援することを目的として、生活の立て直しのための継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金の貸付を行いました。

資 金 別	件数(件)	金 額 (円)
総合支援資金	1	400,000

○福祉資金

低所得者や障がい者・高齢者世帯を対象に、生活の安定を目指すことを目的として、必要な資金の貸付と民生委員による相談支援を行いました。

資金別	件数(件)	金額(円)
福祉資金	4	794,000
臨時特例つなぎ	0	0

○教育支援資金

低所得世帯に属する方が学校教育法に規定する高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校に就学するのに必要な経費の貸付を行いました。

資金別	件数(件)	金額(円)
教育支援資金	29	13,993,000

(5) 福祉金庫資金貸付事業

平成28年度 貸付分		平成28年度 償還分	
貸付件数	8件	償還金額	132,000円
貸付金額	160,000円		

※ 貸付額： 1件2万円以内

※ 償還期日： 1年以内

※ 利息： 無利子

【事業成果】

市民生委員児童委員協議会地区ブロックの定例会に、延べ6回参加させていただき、本事業の概要や本市の現状等を説明し、積極的に周知広報活動を行うことができました。

また、滞納者に対し訪問や電話・郵送等にて償還を促すとともに、滞納世帯の現状に応じて償還方法の変更の提案等を実施し、償還に繋げる努力をしました。

(6) 地域支えあい事業(地域生活支援体制整備事業)

平成28年度亀岡市生活支援体制整備事業を受託する中で、これまで市行政と連携をとりながら①高齢者の実態調査、②地域資源の把握、③協議体研究会の設置、④生活支援コーディネーターの選出、⑤その他研修会への参加に取り組みを行いました。

① 高齢者の実態調査

高齢者実態調査については、京都社会福祉士会へ委託のコーディネーター3名と社協職員により、市の調査意向に基づき、蕨田野・吉川及び大井・千代川町地域を対象に7月から実施し、1月までの7ヶ月間に実件数250件を訪問調査、結果集計については、市により今後の継続した調査を含めた中で必要なデータを集計されます。

## ② 地域資源の把握

地域資源の把握については、平成 27 年度のサロンマップ作成時に把握した地域サロン 33 ケ所に加え、本年度は、自治会からの情報、社協ボランティア情報、市民活動団体、市内企業等からの新たな情報 49 件を加えて、今後まちづくりに行動される協議体等で活用するための地域まちづくり資源マップとして作成しました。

## ③ 協議体研究会の設置

とりわけ、協議体研究会の設置においては、今後の亀岡市における市民主体によるまちづくりを進める核となる亀岡市が設置する「協議体」のあり方を考える場として、平成 28 年 6 月 19 日に開催した「支え合い 助けあう 共生のまちづくりフォーラム in 亀岡」に集まっていたいただいた総勢 400 人に及ぶまちづくりに関心のある方々に声をかけさせていただき、以後、市民主体となる自主的な学習会を社会福祉協議会としても事務局サイドから支援してきました。

日時	場所	主な学習内容	参加人数
平成 28 年 6 月 19 日 (日) 13:30~16:00	ギャラリーかめおか研修室	支え合い 助けあう まちづくりフォーラム	約 350 名
9 月 12 日 (月) 13:30~16:15	市役所 市民ホール	全体学習会	97 名
10 月 31 日 (月) 13:30~15:30	ふれあいプラザ世代間 交流室	協議体を考える分科会	31 名
11 月 7 日 (月) 10:00~12:00	ギャラリーかめおか内 あんしん長寿センター	居場所・交流を考える分 科会	18 名
11 月 7 日 (月) 13:30~15:30	ふれあいプラザ世代間 交流室	生活支援を考える分科 会	13 名
11 月 8 日 (火) 10:00~12:00	ふれあいプラザ世代間 交流室	外出・移動支援を考える 分科会	6 名
12 月 14 日 (水) 13:30~15:30	市役所別館 3F	協議体を考える分科会	25 名
平成 29 年 1 月 16 日 (月)	ふれあいプラザ世代間 交流室	居場所・交流を考える分 科会	雪のため 中止
1 月 19 日 (木) 10:00~12:00	ふれあいプラザ世代間 交流室	生活支援を考える分科 会+居場所分科会	15 名
1 月 19 日 (木) 13:30~15:30	ふれあいプラザ世代間 交流室	外出・移動支援を考える 分科会+居場所分科会	8 名
2 月 3 日 (金) 13:30~15:30	市役所別館 3F	全体会	33 名
3 月 30 日 (木) 13:30~15:30	ギャラリー響ホール	全体会	34 名

④ 生活支援コーディネーターの選出

5月31日の市プラン会議分科会に報告のうえ、6月に社会福祉法人京都社会福祉士会と業務委託契約を締結し設置しました3名のコーディネーターについては、当初想定された業務内容に対して、現実的には対応が困難であることが、平成28年12月15日に行った3名との事業協議の中で確認され、その後京都社会福祉士会にも協議した結果、新年度以降については、京都社会福祉士会に業務委託を継続することが困難な状況となりました。

⑤ その他研修会への参加

平成28年度生活支援体制整備事業を推進する上で、参加した研修については、次表のとおりです。

日時	研修会名	場所	参加者
平成28年 4月25日(月) 9:30～	綾部市社協、綾部市役所	綾部市における事例学習	熊谷、中村
5月26日(木) 15:00～	6/19 フォーラム打合せ	神奈川県立保健福祉大学	中村
6月17日(金) 9:30～11:30	訪問調査説明会	市203会議室	社会福祉士3名、熊谷、中村
6月20日(月) 10:00～	高齢期の幸福度調査研修会	市203会議室	社会福祉士3名、熊谷、中村
6月23日(木) 10:00～17:00	府SCコーディネーター研修会	京都市キャンパスプラザ	中村
6月27日(月) 13:00～16:30	地域創生フォーラム	滋賀県 コラボしが21	熊谷 中村 濱中
9月21日(水)	SCコーディネーター連絡会	ハートピア京都	熊谷
10月11日(火) 12:30～	大阪府SCコーディネーター研修会	大阪市 ドーンセンター	中村
平成29年 1月20日(金) 13:30～16:30	移動・外出を考えるセミナーin大阪	大阪市立総合生涯学習センター	中村
1月30日(月)	SCコーディネーター研修		竹岡
2月14日(火) 13:30～	府SCステップアップ研修	京都リサーチパーク	熊谷 中村
3月4日(土) 13:00～15:45	地域まるごと支えあいフォーラム	滋賀県 ガリバー村	熊谷 津崎

その他、亀岡市との事業打合せは、週1回のペースで実施した他、協議体研究会の事業ごとにさわやか福祉財団の担当者と随時打合せを行いました。

## (7) 福祉生活課題解消支援事業

福祉サービスを拒否される方の背景にある課題について、担当者間の連携を図りながら、課題の解消に向け取り組みを行いました。

また、近年の福祉課題として多く取り上げられている「ひきこもり」問題について、住民、支援者を対象とした講演会を開催しました。

## (8) 社会的孤立防止対策見守り活動事業

◎地域から孤立していると思われる人の発見、相談支援、見守り等を中心とした個別支援→個別に関わること

◎社会的孤立防止対策としての地域の理解促進→地域に関わること

上記の2本柱で平成26年度から事業を展開しています。

### ① 相談支援体制

専門のコーディネーターによる相談受付、訪問、総合相談の視点から市社協の事業利用者（くらしのサポート、権利擁護、貸付、介護サービス）に対しても一方の側面での支援のみならず、実は他にも課題があり生活のしづらさがあるのではないかという視点で相談に入っていく体制で支援を実施しました。また出張相談窓口を亀岡駅近くの事業所にて開設しています。

○相談件数

内 容	件 数 (件)
家族のこと	13
経済的なこと	1
健康面のこと	7
近隣住民のこと	7
その他	7
合 計	35

### ② 社会的孤立防止対策の理解と促進

各地域の住民向け、サロン参加者向けに、孤立しがちな高齢者や、災害時の要配慮者への理解を求める講座や、市内活動者を対象とした交流、研修会を行いました。

また、福祉の出前講座として、地域の不動産会社や配食業者などの事業所へ出向き、見守り通報活動等への協力を求めました。

### ③ モデル地域における見守り体制づくり

モデル地域の民生委員児童委員の方を対象に、困難な事例に関する情報の共有、解決に向けての連携をとれるよう、協力を求めました。

④ 見守りサポーターの養成

見守り、相談支援の必要な人に対して住民による寄り添い支援を行う “社協寄り添いサポーター” の養成と活動の強化を図りました。

研修を受けたサポーターが、対象者宅を訪問し、傾聴、情報提供活動を行いました。

⑤ ひきこもりに関する調査・支援

見守りの対象となりがたい年代への支援として、ひきこもりに悩むご家族の方を対象とした家族教室を昨年度にひきつづき、5回シリーズで開催すると同時に個別相談にも応じる体制を整えました。

⑥ ケース検討会議の実施

市委託事業としての社協の取組みと市地域福祉課としての事業の取組み（特に相談業務）を常に協力体制と連携のもと実施するため、検討会議を月に1回行いました。会議を定期的に行うことで、市と連携を取り、事業を進めることができました。

⑦ 地域福祉支援員と連携した見守り活動

市、市社協に各々にきた相談に対して、共に相談支援を行ったほうが有効なケースは一緒に支援に入りました。

【事業成果】

相談員や寄り添いサポーターの訪問活動、地域の民間事業所への協力の要請等により、地域で孤立状態になることを防ぐための見守り体制づくりを進めると同時に、関係機関、行政と連携しながら支援を行う体制の構築ができました。

ひきこもりやごみ屋敷等、制度の狭間で公的支援が受けにくい人への支援を、構築したネットワークを利用しながら進められたことは、大きな成果となっています。

(9) 福祉用品貸出事業

① 介護用品等貸出事業

- ・ ベッド貸出 22件（平成27年度 36件）
- ・ 車イス貸出 111件（平成27年度 102件）

② レクリエーショングッズ等貸出事業

○ 貸出実績

(単位：回)

用 品	サロン	こども会	地区社協	福祉施設	福祉協力校	自治会	その他	合 計
安全ボーリングセット	2	2					3	7
ジャンボサイコロ	1	1					3	5
輪投げセット	3	1	2	2	1		1	10

ストライククッションボード		1					6	7
お手玉ボード		2					2	4
ジャンボトランプ	2						3	5
バスケットビンゴ	3						5	8
ターゲットゲーム	1	1					2	4
デジタルビンゴ							2	2
ビンゴ	1							1
クリスマスツリー							1	1
サンタ衣装	1						1	2
太鼓相撲		1					2	3
プロジェクター	3		1		1		3	8
ケーブル	1				1		1	3
スクリーン	2		1		1		3	7
マイク			1				2	3
展示パネル						1		1
綿菓子器	1						7	8
織機部品								0
テント							3	3
缶バッチ作成機								0
着ぐるみ							3	3
台車								0
もちつきセット（杵）					1		3	4
もちつきセット（臼）					1		3	4
高齢者体験グッズ					2		2	4
車イス用スロープ							2	2
DVD（なんたん元気づくり体操・高齢者期は食べ盛り）	5							5
その他							16	16
合計	26	9	5	2	8	1	79	130

### 3. 福祉コミュニティ推進事業

#### (1) 地区社会福祉協議会の推進及び支援

亀岡市が策定の地域福祉計画に基づき、地域住民が主体となって福祉コミュニティを推進する組織として、地区社会福祉協議会が下記のとおり市内 12 地区で設立されています。会議の出席・研修会参加の促進・助成金支援等、各地区の活動への支援を積極的に行っていました。

#### 【設立されている地区社協】

- ・ 保津町社会福祉協議会 (昭和 39 年 4 月設立)
- ・ 亀岡地区社会福祉協議会 (昭和 51 年 5 月設立)
- ・ 曾我部町地区社会福祉協議会 (平成 5 年 4 月設立)
- ・ 吉川町地区社会福祉協議会 (平成 18 年 3 月設立)
- ・ 本梅町地区社会福祉協議会 (平成 18 年 11 月設立)
- ・ 蒔田野町地区社会福祉協議会 (平成 20 年 2 月設立)
- ・ 篠町地区社会福祉協議会 (平成 21 年 3 月設立)
- ・ 宮前町地区社会福祉協議会 (平成 22 年 11 月設立)
- ・ 亀岡地区東部社会福祉協議会 (平成 22 年 12 月設立)
- ・ 東つつじヶ丘地区福祉協議会 (平成 23 年 3 月設立)
- ・ 南つつじヶ丘地区社会福祉協議会 (平成 23 年 10 月設立)
- ・ 亀岡地区中部社会福祉協議会 (平成 24 年 2 月設立)

実施日	地区(対象)	内容
平成 28 年 5 月 14 日(日)	曾我部町	【平成 28 年度 総会開催】 市社協出席
6 月 27 日(月)	本梅町	【平成 28 年度 総会開催】 市社協出席
11 月 9 日(水)	亀岡地区東部	【亀岡地区東部社会福祉協議会主催 “地域ボランティア養成講座”】 市社協：講師
平成 29 年 1 月 28 日(土)	12 地区社協対象	【第 5 回きょうと地域福祉活動実践交流会】 主催：きょうと地域福祉活動実践交流会実行委員会 講演「活動のストーリーから継続・ 地域の営みへの知恵を学ぶ」 事例発表 ・ 写真展示  実践発表から地域活動のヒントを得ていただくことを 目的に参加 地区社協より 19 名の参加 市社協：調整、同行

2月4日(土)	宮前町	【サロン研修・交流会】 「地域における “支え合い 助け合いの ガクシュウカイ”」
---------	-----	--

### 【事業成果】

様々な事例をとおして、地域住民・関係機関と地域課題等について話し合いを行い、地域福祉活動の推進について地域と共に考えていき、関係機関、行政との協働による事業の展開も活発に行うことができました。

### (2) 地域サロン活動の推進

サロン活動とは、生きがい活動と元気に暮らすきっかけをつくり、地域の見守り活動も兼ね、地域の人同志のつながりを深める活動です。

亀岡市内において、各地域でサロン活動が活発に行われ広がりをみせており、訪問・研修会を実施し支援を行いました。

実施日	活動内容
年間を通して 随時訪問	【各地域のサロン活動訪問】 ※訪問することで活動内容の把握、活動者や利用者の声を聴き、活動推進の参考としている。
平成28年 9月30日(金)	【サロン活動者 研修・交流会】 主催：市社協 対象：地域の活動者、各包括支援センター 計72名 内容：講演会 「盛り上げよう！地域活動 ～やってみたいを形に 今ある活動を次の一歩へ～ 講師：花園大学 川島教授

### 【事業成果】

毎年開催しているサロン活動者対象の研修・交流会は多くの活動者の皆様に参加いただいております。活動への意欲と意識の高さを感じています。今年度は“つながり”をキーワードに、どのような事が必要かを考え、また活動者同士の“つながり”を考える機会とすることができました。

### (3) 小地域福祉活動の推進

#### ◇訪問見守りボランティア強化学業の支援

一人暮らし高齢者世帯等を戸別、サロンにより見守ることによって高齢者の孤立・孤独を防ぎ、安心・安全な地域づくりを目指す活動の強化（拡充）を図るため申請先に支援を行いました。

団体先	申請数
自治会	9 地区
地区社協	5 地区
その他の団体	6 団体

【事業成果】

見守り強化を呼びかけることにより、地域力の強化に繋がっています。

#### 4. ボランティア活動支援事業

(1) 情報提供、広報

ホームページ、社協かめおか、ボランティアセンター情報コーナー（パンフレットスタンド）等で情報提供を行いました。

(2) ボランティア活動の推進

ア. ボランティア養成講座

平成 28 年度はボランティアグループ、個人ボランティア、サロン団体、地区社協、自治会の方を対象にした、地域活動者研修・交流会、ボランティア活動支援講座を行いました。

講座名	開催日時・場所	参加人数
地域活動者研修・交流会 「盛り上げよう！地域活動 ～やってみたいを形に 今ある活動を次の一歩へ～」	日時：平成 28 年 9 月 30 日(金) 午後 13 時 30 分～16 時 00 分 場所：ガレリアかめおか大広間	約 70 名
ボランティア活動支援講座 「見てもらえる 手に取ってもらえる チラシの作り方」	日時：平成 28 年 11 月 29 日(火) 午後 13 時 30 分～15 時 30 分 場所：ガレリアかめおか大広間	35 名

【事業成果】

交流会では、ボランティア団体とサロン等、普段関わる機会が少ない方同士が交流している姿が多くみられました。参加者からは、「サロンからボランティアの依頼があった」「〇〇というサロンを紹介してほしい」等の声が出てました。

チラシ作りでは、チラシを作るにあたって心得ておく事などを紹介され、個人またはグループで話し合いながら簡単なチラシを作成し、参加者は各々の活動やサークルの会員募集のチラシのデザインを考えながら講師にアドバイスをもらい、他のグループと情報交換を行われていました。講座終了後には、「参加して良かった」「もっと長い時間でも良かった」等の意見を多く頂くことができました。

イ. 各種団体主催のボランティア講座・研修へ講師の派遣

講座名	開催日時・場所	参加人数
亀岡地区東部地域住民講座 ～安心して暮らせるために～ シンポジウム	日時：平成 28 年 6 月 26 日 (日) 午前 8 時 30 分～13:00 分 場所：古世総合センター	55 名

「知って得する健康と栄養のおはなし」		
亀岡地区東部住民講座 ～安心して暮らせるために～ シンポジウム 「知って得する暮らしとお金のおはなし」	日時：平成 28 年 9 月 25 日（日） 午前 10 時 00 分～12 時 00 分 場所：古世総合センター	約 50 名
亀岡地区東部社会福祉協議会主催 地域支援ボランティア養成講座	日時：平成 28 年 11 月 9 日（水） 午前 10 時 00 分～11：30 分 場所：第二中矢田自治会会議所	17 名
亀岡地区東部社会福祉協議会主催 「地域福祉の集い」	日時：平成 29 年 2 月 10 日（金） 午前 11 時 00 分～12 時 00 分 場所：古世総合センター	36 名

### 【事業成果】

市民の方にボランティア活動への理解と、きっかけづくりを提供する目的で、市及び関係機関で開催される各講座等、外部主催の研修・講座へ講師派遣など積極的アプローチを行ってまいりました。

#### ウ. ボランティア活動への支援

ボランティアに関する相談や各民間助成金等の情報提供を行いました。

主な相談内容	相談件数
サロンや施設でのアトラクション出演依頼	20 件
ボランティア活動支援依頼（傾聴その他）	8 件
ボランティアグループの運営に係る相談・支援	1 件
ボランティアを始めたい方への相談援助	6 件
その他	1 件

#### エ. 集めておくボランティア

だれでもすぐに始められるボランティア活動として、使用済切手・書き損じハガキ・プリペイドカード・空き缶のプルタブ・ペットボトルのエコキャップ等の収集を呼びかけ国内外の支援に役立てました。なお、各自治会や市内小中学校へ積極的に呼びかけを行い、多くの皆様のご協力をいただきました。

また、集められたプルタブ等を取扱い団体等に発送する作業は、市民ボランティアに協力していただきました。

## 【事業成果】

“集めておくボランティア”活動は、年々ご協力をいただく市民の皆様が増えております。近隣の市町村で取り組んでいる社協が少ないため最近では他の市町村からの問合せも受け、ご協力いただいております。

### (3) ボランティアセンター登録数

- 個人ボランティア 24名（平成28年度登録数）
- 活動グループ 23グループ

### (4) 災害ボランティアセンターの運営・活動

○設立 平成24年9月1日

○目的 地震や水害などの災害発生時に、被災地での支援活動に従事する「災害ボランティア」を受け入れ、被災者のニーズを把握し災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点となる。

「被災者の日常生活への復旧支援」を目的に、災害時のボランティア活動を効果的・効率的に行うために平常時から訓練等を実施し、住民の防災・減災及びボランティア活動への意識向上を図っています。

## 【災害ボランティアセンター活動内容】

日付	会議・研修、活動等	内容
平成28年 5月18日(水)～ 5月22日(日)	熊本地震への職員派遣	場所：熊本県熊本市西原村 西原村地域包括支援センター支援 ・地域の実態調査(戸別訪問) ・各関係機関との連絡調整 ・実態把握により要配慮と判断したケースについてのリスト作成
平成28年 5月29日(日)～ 6月3日(金)	熊本地震への職員派遣	場所：熊本県熊本市西原村 西原村災害ボランティアセンター 運営支援 ・ボランティアセンターの運営体制の整備 ・依頼ニーズの現地調査 ・ニーズに対するボランティアの送り出し ・ボランティアの送迎 ・ニーズの掘り起こし(聞き取り調査、ボランティアセンターの案内)
平成28年 6月25日(土)	平成28年度京都府災害ボランティアセンター総会に出席	場所：龍谷大学 ・平成27年度事業報告・決算(案) ・平成28年度事業計画・予算(案)
平成28年 6月28日(火)	平成28年度亀岡市災害ボランティアセンター運営委員会開催	場所：ふれあいプラザ内世代間交流室 ・平成27年度事業報告・収支決算について ・平成28運営計画(案)・予算(案)につ

		いて ・熊本地震における社協の対応について ・京都府災害ボランティアセンター災害時の各団体の動きについて ・意見交換
平成 28 年 8 月 2 日(火)	東別院小学校 防災キャンプへの参加	場所：東別院小学校 ・非常食の試食 ・避難所体験グッズの組み立て体験 (段ボールベッド、段ボールトイレ)
平成 28 年 8 月 3 日(水)	東別院小学校 防災キャンプへの参加	場所：東別院小学校 ・防災グッズの作成 (新聞紙スリッパ、キッチンペーパーマスク) ・「いえまですごろく」の実施 (すごろくを通して防災について学ぶ)
平成 28 年 9 月 4 日(日)	京都府 避難所開設・運営訓練 (研修)	場所：南丹市 園部 B&G 海洋センター体育館 国際交流会館コスモセンター ・災害発生から避難所開設 ・要配慮者を意識した避難所運営 ・関係者、関係機関との連携 ・熊本派遣チーム員からの報告 ・意見交換 ・今後の災害派遣福祉チーム(DMAT)について
平成 28 年 10 月 16 日(日)	京都丹波・森の京都フェスティバル	場所：ガレリアかめおか ・防災コーナーに参加 福祉体験コーナーの設置 防災グッズ作成コーナーの設置
平成 28 年 10 月 23 日(日)	第 29 回 市民福祉のつどい	場所：ふれあいプラザ ・災害ボランティアセンターコーナー 非常食の試食 段ボールベッド、トイレの設置 熊本地震支援時の写真展示

平成 28 年 11 月 1 日(火)	「現地ボランティアの円滑な立上げ・運用ポイント(手引き)」見直し作業部会出席	場所：南丹市園部中央公民館 ・平成 17 年度に作成した「現地災害ボランティアセンターの円滑な立ち上げ・運用ポイント(手引き)」が、作成から 10 年が経過しているため、これまでの被災経験や支援経験を踏まえ京都府内の災害ボランティアセンター運営経験者が経験と知識を持ち寄り現状に即した内容に更新する事を目的として平成 27 年度内に 5 回開催。
平成 29 年 2 月 12 日(日)	東日本大震災あの日を忘れない メモリアル講演会・研修会	場所：ガレリアかめおか ・「東日本大震災を経て いちご農家へ」～G R A の取り組み～ 農業生産法人(株)G R A 代表取締役副社長 橋元 洋平さん ・「災害時に備えたマルチハザード情報システム」 京都府 府民民生部 防火消防企画課 津田 聡雄さん
平成 29 年 2 月 23 日(木)	愛知県刈谷市 社会福祉協議会 視察研修受け入れ	場所：ふれあいプラザ内 世代間交流室 ・常設型災害ボランティアセンターにおける、平常時の活動内容、取り組み 状況と課題について
平成 29 年 3 月 22 日(水)～ 3 月 23 日(木)	平成 28 年度 近畿ブロック社協災害ボランティアセンター運営者研修	場所：和歌山県白浜町 ・社協が災害ボランティアセンターの中核になる意義(基調報告) ・問題意識の共有(グループワーク) ・災害ボランティアセンターは何のため、誰のためであるのか(導入講義) ・講義・演習 ・情報交換会

### 【事業成果】

平成 28 年 4 月に熊本地震が発生した際、西原村災害ボランティアセンターに職員 2 名を派遣し、センター支援を行いました。

8 月には亀岡市立東別院小学校からの依頼により、6 年生対象の防災宿泊キャンプに参加しました。非常食体験や避難所開設時に必要な段ボールベッドや簡易トイレ、避難所グッズを一緒に作成し、子ども達の防災意識を高める取り組みになりました。また、9 月 4 日の京都府総合防災訓練【避難所設営】実施訓練に参加し、災害時の避難所開設についての流れについての確認が出来ました。

平成 29 年 2 月には、京都府南丹広域振興局と共催で、東日本大震災を経験された方の講演会と京都府のマルチハザードシステムの研修会を亀岡市民・行政・運営委員・自治会等を対象として開催し、今一度防災に意識を向けて頂く取り組みを行いました。

年間を通して、各関係機関等と連携し、防災・減災に向けた取り組みを行うことが出来ました。

## 5. 福祉教育

市内の小中学校(計 11 校)で、福祉活動を展開しました。

### (1) 障がい者・高齢者理解と福祉ボランティア体験事業

亀岡ボランティア連絡協議会や社会福祉施設、障がい者団体の協力を得て、児童・生徒を対象に、福祉教育の一環としてボランティア体験や講演を通して、障がい者・高齢者への理解等、福祉への理解を深める事業を実施しました。

### (2) 夏休み社会福祉体験学習事業

夏休み期間中に中学生・高校生が、社会福祉施設や地域の様々な活動の場に参加し、子どもや高齢者、障がいのある人たちとのふれあいや交流などを通して、いのちの尊さや思いやり、やさしさ、人としての本当の強さを考える機会として実施しました。

#### ア. 社会福祉体験学習の実施内容

- ・期 間 : 平成 28 年 7 月 25 日 (月) ~ 8 月 19 日 (金) の間の 3 日間
- ・参加人数 : 12 名 (中学生 0 名、高校生 12 名)
- ・体 験 先 : 高齢者施設 : 1 箇所、児童施設 : 4 箇所、障害者施設 0 箇所

#### イ. 事前学習会の開催

- ・開 催 日 : 平成 28 年 7 月 22 日 (金)
- ・場 所 : ガレリアかめおか 大広間
- ・参 加 者 : 体験学習参加生徒 11 名
- ・内 容 : ①施設担当者・参加者自己紹介  
②事業説明「夏休み社会福祉体験学習実施にあたって」  
③質疑応答  
④各受け入れ施設・団体ごとにオリエンテーション

#### ウ. 事後学習会の開催

- ・開 催 日 : 平成 28 年 8 月 23 日 (火)
- ・場 所 : ガレリアかめおか 響ホール
- ・参 加 者 : 体験学習参加生徒 12 名
- ・内 容 : ①社会福祉体験学習ふりかえり  
②各受け入れ施設・団体からの感想  
③グループに分かれてワークショップ、発表

## 6. イベント募金

市全体を対象に実施されるイベント(光秀祭り等)と各地域で行われるイベント(夏祭りや世代間交流になる住民イベント等)にわけて市社協として参画しました。各イベントにおいて、「綿菓子」や「ポップコーン」、「ワッフル」を販売し、販売した売上金額から材料費を差引いた額を募金といたします。募金の使い道は「亀岡市のまちを良くするための地域福祉活動」や各地域へ共同募金事業の助成金として還元し「各地域に沿った課題解決事業」として活用していただきます。

イベント名	募金額
大本観桜茶会	242 円
第44回亀岡光秀祭り	66,712 円
安町ふれあい祭り	31,533 円
蕨田野町夏祭り	3,440 円
宮前町湯ノ花平区夏祭り	6,168 円
ハートフェスタ2016	1,477 円
東本梅町ふれあい祭り	4,354 円
東部フェスタ2016	8,570 円
宮前町民フェスティバル	4,368 円
河原林町まちづくりフェス	5,000 円
合計	131,864 円

## 7. 各種団体への支援

### ① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における地域福祉・在宅福祉の増進に寄与するため各施設に関わる諸問題について協議し、各施設間相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。

日 時	事業名	内 容
平成 28 年 10 月 16 日 (日)	ハートフェスタ 2016	喫茶ブース 協力：高齢者あんしんサポ ートハウス亀岡友愛園
10 月 23 日 (日)	市民福祉のつどい【ガレリアかめおか】	いけばなりサイクルアート
平成 29 年 3 月 3 日 (金)	平成 28 年度 亀岡市社会福祉施設協議会研修会 場所：龍潭寺	社会福祉法人の地域におけ る取組について

### ② 亀岡ボランティア連絡協議会

亀岡市社会福祉協議会に登録しているボランティア及びボランティアグループを統括し、関係機関と連携を図りながら、開催事業の計画及び実施を行っています。

日 時	事業名	内 容
平成 28 年 10 月 23 日 (日)	市民福祉のつどい【ガレリアかめ おか】	喫茶コーナー、ボランティア体 験コーナーとして参画
12 月 3 日 (土)	歳末たすけあい運動 街頭募金	市内 16 カ所 30 名参加

12月5日(月)	ボラ連・研修交流会	舞鶴市「ほのぼの屋」見学 舞鶴市社会福祉協議会(ボランティアセンター運営委員)との交流会
----------	-----------	---

その他、市内小・中・高等学校への福祉教育・ボランティア体験学習への講師派遣、行政・障害者福祉団体への協力を行っています。

### ③ 亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障がい児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開し、障がい児者福祉への理解と発展のため積極的に取り組まれています。会員は約250家族。

会議の出席・事業の支援を行っています。

### ④ 亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域53の老人クラブが加盟する約2700名の組織です。その事務局として、年間を通じて行われるいろいろな行事の開催援助や、事業活動・団体運営の援助等を日常的に行っています。

日時	事業名	内容	備考
4月14日(木)	正副会長会	前年度事業総括	相談室3
4月21日(木)	正副会長会/監査/理事会	前年度事業報告・決算報告・監査報告	世代間交流室
5月1日(日)	会報発行	「市老連かめおか」第12号発行3000部	
5月11日(水)	正副会長会	単位クラブ会長会準備	相談室3
5月11日(水)	単位クラブ会長会	前年度事業報告・決算報告・監査報告	ガレリア大広間
5月20日(金)	単位クラブ女性部長会	女性部総会、女性部事業計画	ガレリア大広間
5月26日(木)	健康ウォーキング@保津町	『かめおか健康プラン21』市老連事業	請田神社ほか
6月22日(水) -23日(木)	近畿ブロックリーダー研修会	分科会にわかれ研修会、講演会、交流会	京都市
6月24日(金)	日帰り研修旅行	H28年度日帰り研修旅行(二フレル他)	276名、39クラブ
6月30日(木)	正副会長会	各種事業についての審議	相談室3
7月7日(木)	理事会	グラウンドゴルフ大会、秋期事業準備	世代間交流室
7月29日(金)	市町村リーダー研修会	府老連研修会	ハートピア京都
8月3日(水)	広報委員会	会報発行準備・編集会議	相談室3
8月5日(金)	正副会長会	グラウンドゴルフ大会、市民福祉のつどい定期大会等取組内容審議	相談室3
8月17日(水)	広報委員会	会報発行準備・編集会議	相談室3
8月22日(月)	丹波ブロック女性リーダー研修会(開催地担当)	亀岡市老連が開催主管、150規模	ガレリア大広間
8月29日(月)	広報委員会	会報発行準備・編集会議	相談室3

9月8日(木)	正副会長会	老人週間・GG大会・定期大会について	相談室3
9月15日(木)	理事会	老人週間・GG大会・定期大会について	世代間交流室
9月15日(木) -21日(水)	老人の日・老人週間	全国老人クラブ一斉取組み	亀岡市内全域
10月1日(土)	会報発行	「市老連かめおか」第13号発行3000部	
10月14日(金)	京都府老人クラブ大会	創立50周年記念 京都府老人大会	京都テルサ
10月23日(日)	市民福祉のつどい	伝承あそびコーナー・ステージ踊り等参画	ギャラリーかめおか
10月24日(月)	グラウンドゴルフ大会準備	グラウンド整備、大会準備	月読橋球技場
10月25日(火)	市老連グラウンドゴルフ大会	市長/議長/会長杯争奪 41チーム、246人出場	月読橋球技場
11月21日(月)	定期大会等前日準備	開催準備、リハーサル、帳合い等	ギャラリー大広間
11月22日(火) (終日)	定期大会・女性指導者研修大会・健康事業講座	第34回亀岡市老連定期大会、第36回亀岡市老連女性指導者研修大会、健康講座	ギャラリー大広間
12月1日(木)	正副会長会	新春会長・役員会・趣味の作品展準備	相談室3
12月8日(木)	正副会長会/理事会	新春会長・役員会・趣味の作品展準備	世代間交流室
1月14日(土)	新春会長・役員会	新春会長・役員会	玉川楼
1月27日(金)	市町村老連事務局長会議	府老連事業報告、事業計画他	ハートピア京都
2月15日(水) -16日(木)	第32回趣味の作品展	38クラブの254人、443点作品展示	ギャラリー響ホール
2月21日(火)	広報委員会	会報発行準備・編集会議	相談室3
3月2日(木)	広報委員会	会報発行準備・編集会議	相談室3
3月9日(木)	正副会長会	年間計画、H28総括/決算、H29予算	相談室3
3月16日(木)	理事会	H29年度予算案審議、9日帰り旅行選定	世代間交流室
3月22日(水)	単位クラブ会長会	年間計画、H29予算/事業計画、旅行	ギャラリー大広間
3月29日(水)	正副会長会/会計監査	H28年度会計監査	相談室3
通年事業	友愛施設訪問	施設に入所されている方への友愛訪問	各単位老人クラブ
	友愛在宅訪問	見守りが必要な高齢者宅への友愛訪問	
	社会奉仕・地域貢献	公共エリア清掃、子ども見守りなど	

### ⑤亀岡市母子寡婦福祉会

母子家庭や寡婦の皆さんが安心して暮らせる福祉社会を目指して、同じ立場の親子の「つながり」の輪が広がるよう、いろいろな活動をしています。

日時	事業名	内容
平成28年 5月15日(日)	第1回生活支援講習会	「日帰り旅行～宝塚～」
8月7日(日)	第2回生活支援講習会	羊毛フェルトボール作り
12月11日(日)	第3回生活支援講習会	お餅つき
12月18日(日)	第4回生活支援講習会	お正月お餅つき

12月25日(日)	ひとり親家庭の居場所づくり事業	書道教室
12月20日(日)	第4回生活支援講習会	お正月寄せ植えづくり
平成29年 1月14日(土)	母子寡婦福祉大会・新年のつどい	

## 8. 介護保険事業

### (1) 訪問介護(ホームヘルプ)事業

#### ○利用実績

年 度	稼 動 日 数 (日)	介 護 予 防 訪 問 介 護 (人)	訪 問 介 護 (人)	合 計 (人)
平成26年度	308	209	438	647
平成27年度	316	258	396	654
平成28年度	312	212	384	596

利用者が居宅において、可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的として、常に利用者の人格を尊重し、寄り添い、利用者が必要とする適切なサービスを提供しました。

### (2) 通所介護・介護予防通所介護(デイサービス)事業

#### ○利用実績

年 度	稼 動 日 数 (日)	介 護 度 別 登 録 人 数 (年 度 末) (人)		利 用 者 延 人 数 (人)	1 日 平 均 利 用 人 数 (人)
		要 支 援	要 介 護		
平成26年度	308	23	54	6,840	22
平成27年度	308	14	48	6,427	20
平成28年度	306	16	52	5,860	19

・長期入院、入所、死去による利用中止 : 22件

#### \* 通所介護

- ・中重度ケア体制加算の算定を継続
- ・認知症加算の算定を開始

要介護1～5で日常生活自立度のランクがⅢ、Ⅳ又はMに該当するご利用者の1ヶ月あたりの実績平均が20%以上あり、提供時間帯を通じて認知症介護に係る実践者等の研修を修了した者を1名以上配置していること、職員体制が指定基準に加え常勤換算方法で2以上確保できたときに算定可能。

- ・Ⅲ～Mに該当するご利用者について、1日につき60単位を加算できる。
- ・計画書を作成、説明し同意を得、実施・評価を行う。

＊ 介護予防通所介護

- ・生活機能向上グループ加算の算定を継続

○ 提供内容

- ・一日の流れの中で、ご利用者の意欲を引き出す環境づくりに努め、グループ体操や脳トレ、手芸・折り紙等の物づくりに取り組むことで、生活機能の向上や活気ある生活作りにつなげることが出来た。中でも個別レクリエーションについては午後に時間を変更し、職員体制を整えることで落ち着いて取り組んでいただけました。
- ・年間行事やレクリエーションを計画することで、季節感を感じ気分転換が図れるように、また、共に楽しみ日々の生活をハリのあるものになるよう努めた。

季節のドライブ、バラ園散策、外食、季節のお茶会、要支援者の買い物  
園児交流、調理レク、編み物、手作りレク、園芸、ボランティアによる口腔体操  
民謡、認知症予防ゲーム、中学生の職場体験、実習生の受入

○ 環境整備

- ・中重度のご利用者増加に伴い、ベッドの手すりや座布団等の調整をすることで安全に又、安楽に過ごしていただける環境を整えました。

○ 職員研修

事業所内外での研修に参加することにより個人はもとより職員全体のスキルアップを図り、日常業務を見直すことができた。また、新しい情報を得、的確な介護や相談業務を行うことで安心して利用していただける施設作りにつながりました。

(3) 居宅介護支援（ケアプラン作成）事業

【支援内容】

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った介護等に関する相談・助言。  
利用者のニーズに応じた居宅サービス計画書を作成。  
医療・行政機関や居宅サービスを提供する事業者等と積極的に連携しながら、公正・中立なサービスを提供。

①居宅介護支援

○給付管理・認定調査件数

(単位：件)

	介護保険	介護予防	合計	訪問調査
平成26年度	674	86	760	37
平成27年度	786	87	873	56
平成28年度	821	67	888	49

※主な業務内容

- ・居宅サービス計画書を作成
- ・支援経過観察と再評価
- ・希望により施設入所への支援
- ・必要により居宅サービス計画の変更
- ・介護保険の給付管理
- ・要介護認定等の申請に係る援助

## ②在宅介護支援

### ○相談件数

(単位：件)

	電 話	来 所	訪 問
平成 26 年度	3 9	2 0	1 4
平成 27 年度	2 5	1 2	1 8
平成 28 年度	4 2	9	1 4

### ※主な相談内容

- ・介護保険申請に関する相談
- ・住宅改修に関する相談
- ・ベッドや車いすなど福祉用具に関する相談
- ・入退院または入退所に関する相談

### ※亀岡市高齢福祉サービスの利用に関する、各種申請のお手伝いを行いました。

- ・高齢者の生活を支援するサービス  
緊急通報装置の設置など
- ・介護をしている方を支援するサービス  
在宅高齢者介護激励金の支給・介護用品の支給など

## 9. 障害者自立支援給付事業(ホームヘルプ)

### ○利用実績

年 度	稼働日数 (日)	身体障が い者(人)	身体障が い児(人)	知的障が い者(人)	精神障が い者(人)	合計(人)
平成 26 年度	3 0 8	1 1 2	6 6	1 2	1 1 4	3 0 4
平成 27 年度	3 1 6	1 7 1	5 6	2 0	1 1 6	3 6 3
平成 28 年度	3 1 2	1 4 4	4 2	1 5	1 6 0	3 6 1

### 【事業目的】

障害者総合支援法に基づく、障害者自立支援給付事業(ホームヘルプ)に取り組み、それぞれの事業の質・サービスの向上を図り、常に利用者の視点に立ち、利用者が居宅において、より安心・安全で可能な限り自立した日常生活が営めるように支援するサービスを提供しました。

\*サービスの質・技術向上のため、様々な研修に取り組みました。

## 10. 子育て支援事業

### (1) ひろば事業

家族でいつでも好きな時に来館し、親子で自由に遊べる「かめおっこひろば」では、保護者どうし、世代を越えた交流の場として、本年度は約2万3千人の利用がありました。

#### ○ふれあいルーム利用状況（団体利用を除く）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日 平均
平成 28 年度	開館 日数 (日)	26	27	25	27	27	25	26	26	24	23	24	26	306	
	利用 人数 (人)	1,923	1,914	2,458	2,349	2,341	2,252	1,889	1,829	1,753	1,675	1,908	2,207	24,498	80
平成 27 年度	開館 日数 (日)	27	26	26	26	27	26	26	26	23	24	24	27	308	
	利用 人数 (人)	1,887	2,100	2,033	1,946	2,184	2,045	1,860	1,897	1,686	1,867	1,936	2,275	23,536	76

#### ○利用者カードの発行

新規利用申込者数      平成28年度   ：817人   （平成27年度   749人）

#### ○成果と課題

- ・昨年と比較すると、利用者数は年間で約1000人増加しています。各曜日別利用者数を集計すると、火・水曜日の利用が最も多く、続いて土・日の利用者が多いことが分かりました。火曜日水曜日は事業が集中しているため、土日は祖父母や兄弟を含めた家族での利用が多いためだと考えられます。
- ・つどい事業のない時もスタッフによる「おはなしタイム」や「つくって遊ぼう」の取組が利用者につきり定着し、それを楽しみにして来館する家族が増えました。
- ・就園前の子どもを連れて子育て支援センター（かめおっこひろば）に来ることを毎日の生活リズムの一つに取り入れて育児をしているの方も多くおられます。来館された方には、スタッフは積極的に話しかけるようにしています。何気ない会話から相談になる場合もあるので、これからも利用者にとって気軽に子育ての悩みを相談できる場となるよう努めていきたいと考えます。
- ・「ここ（かめおっこひろば）にくると子どもは本当によく遊びます」という利用者の声をよく耳にします。今以上に安心安全に遊べる場の提供が出来るようにしていきたいと考えます。

(2) つどい事業

○事業実績

事業名	実施回数	参加人数	内容	講師・協力団体等
プレびよひろば 妊婦 (隔月金曜日)	5	62	・マザリーズと交流会 ・ベビークラウン作りと交流会 ・マタニティヨガと交流会 ・わらべ歌マッサージと交流会 ・プレママとびよママの交流会	奥村恵子さん 森中美由紀さん 主任児童委員
ひよこひろば 妊娠中～6ヶ月 (毎月第2水曜日)	12	446	・発達のお話 ・親子で楽しむふれあい遊び ・ベビータッチとバストケア ・保護者とあかちゃんの交流会	保健センターの保健師 プラチナ・ママさん 主任児童委員
ひよこひろば 7ヵ月～12ヶ月 (毎月第4水曜日)	12	777	・離乳食、食育についてのお話 ・親子で楽しむふれあい遊び ・リフレッシュ体操 ・絵本の読み聞かせや紹介 ・保護者とあかちゃんの交流会 ・1歳のお誕生会	長瀬栄養士 主任児童委員 丸山礼子さん 湯浅和江さん
きりんのひろば 1歳～2歳未満 (第3火曜日)	6	174	・歌と手遊び ・リズム遊び、リトミック ・シャボン玉、新聞、パラバルーン遊び	榎麗子さん 岩崎真理子さん
うさぎのひろば 2歳以上 (火曜日 不定期)	6	218	・歌と手遊び ・リズム遊び、リトミック ・シャボン玉、さかなつり、フェイスペイント遊び	榎麗子さん 岩崎真理子さん
みんなのひろば (全年齢)	4	415	・音楽鑑賞	オカリナサークル tururu さん みなみのかぜさん UFOT21 さん ミュージックパークさん
親子体験事業	2	78	・5月14日 うんどうかいごっこ ・2月4日 3B体操	井上八千代さん
世代間交流事業	4	393	・4月27日 中部保育所との交流 ・5月20日 本梅、東本梅保育所との交流 ・6月4日、2月25日 多胎児家族交流会 ・3月14日 中部保育所園児との交流	
子育て講座	4	165	・6月28日 臨床心理士による講演 ・10月31日 カイロプラクティック ・11月7日 小児科医による講演 ・3月14日 ヒンメリ作りと交流会	舟木真弓さん 西岡博やさん 仲西舞有美さん 全 有耳さん
子育てネットワーク 事業	6	99	・6月13日 9月12日、1月27日 普通救命講習会 ・5月16日、11月21日、3月6日 子育てサークル支援者交流会	京都中部広域消防組合 救急救命士さん 井手口温美さん
絵本のひろば	12	480	・季節や行事にあった絵本を親子で楽しむ ・絵本相談	北川チハルさん (絵本作家)
その他の事業	3	222	・8月1日 子育て親育ち講座 ・9月27日 交通教室(ファミサポ事業との共催) ・12月10日 子育て親育ち講座	
かめおかっこ農園	通年		・季節の野菜の収穫を楽しむ	子育て支援ボランティア
合計	76	3529		

○成果と課題

- ・1歳～2歳未満対象の「きりんのひろば」、2歳以上対象の「うさぎのひろば」を行い、年齢にあった内容の事業を提供することができました。毎回申し込み開始早々に定員に達するほど好評でした。しかし、きりんのひろばとうさぎのひろばが同じ内容であるにも関わらず、それぞれのひろばに兄弟で申し込み、結果的に同じ家族が2回参加するということがありました。また、ひろばの実施日が別のひろばの申し込み日と重なる場合があります。来年度からは、内容が同じ場合には、参加の仕方を申込者に考えていただく言葉かけや、実施日と申し込み日が重ならないようにする工夫をしていきたいと考えます。
- ・運動会ごっこや3B体操などの親子体験事業は、土曜日実施ということで平日来館している人に呼び掛けても、参加者が集まりにくいことが多くありました。土曜日に開催する意義を踏まえて、今年度以上に「父親の参加」「祖父母の参加」を促していきたいと考えます。あわせて、家族で参加する意義が感じられる内容を工夫していきたいと考えます。

○出前ひろば

場 所	回数 (回)	家庭数 (件)	参 加 人 数 (人)				
			子ども	保護者	世代間	スタッフ	合 計
畑野健康ふれあいセンター	1	2	2	2	4	9	17
宮川公民館	1	4	4	4	5	11	24
穂田野生涯学習センター	2	12	12	11	13	16	52
亀岡市立図書館中央館	4	58	61	58	0	44	163
西つつじヶ丘ふれあいセンター	2	18	23	18	0	22	63
合 計	10	94	102	93	22	102	319

○成果と課題

- ・今年度、子育て支援センターが主となり出前ひろばを開催していきました。保護者同士の交流をメインに、季節感の感じられるあそびや世代間交流などを計画し、毎回たくさんの参加がありました。保護者同士交流してもらって事で悩みを共感したり解決に向かったり、またリフレッシュできたりし、いつも時間が足りないほどの盛り上がりを見せます。このことから交流の重要性を感じ、今後も交流会をメインに計画していきたいと考えます。
- ・今年度より亀岡市立図書館との連携の中で、絵本の読み聞かせをしていただいたり、親子で絵本を手にとってもらえるよう各回に絵本を準備していただきました。回を重ねるごとに親子で絵本に向き合う姿勢づくりができたように感じます。住んでいる地域を越えて参加する親子もあり、出前ひろばが親子で集える場として広まってきています。

(3) 相談事業 (おひさま)

子育てに関する日常的な相談にスタッフが対応し、より専門的なことは他機関との連携を大切に取り組んでいます。

## ○相談件数

(単位：件)

相談事項	電話相談	来所相談	合計
食 事	2	53	55
排 泄	0	23	23
睡 眠	2	21	23
身体・健康	4	58	62
情緒・社会性	1	39	40
ことば	0	7	7
子ども同士の関わり		11	11
育児方針	0	3	3
学校教育・幼児教育	0	22	22
母親支援	10	220	230
その他	2	49	51
苦 情	0	0	0
合 計	21	506	527

## ○成果と課題

今年度は、延べ527件の相談がありました（前年度381件）。電話での相談や、電話の後、来館されて相談室で相談された方、子どもと遊びに来、何気ない会話の中から相談に発展していくといったケースなどが多々ありました。また、「相談したい」と思って来館され、子どもさんを遊ばせながら相談したり、相談室でじっくり相談される方もありました。専門相談員が研修を受け、スキルアップをすることで、より専門性のある対応が出来、また、全スタッフが、来られる方々の些細な変化に気づくことで、早期に悩みの解決につながったと考えます。今後も保護者に寄りそい、丁寧であたたかい相談対応をしていきたいと考えています。

## (4) 妊婦来館推進事業

妊婦からの子育て支援として、本格的に妊婦来館推進事業を始めました。保健センターと連携をとり、母子手帳を取りに来た妊婦に支援センターの案内や子育ての輪（赤ちゃん用のおもちゃ）のプレゼント券を渡して支援センターが妊婦とつながるきっかけを作りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数(人)	0	4	0	6	5	6	1	9	2	0	7	5	45

## ○成果と課題

- ・妊婦さんにプレゼントするおもちゃ（にぎにぎ）は、「のぞみの会」や「いのさか倶楽部」など地域に住む方に製作をお願いしました。地域住民をまきこんだ子育て支援を目標にしています。子育て支援センターを利用する有志の母親たちや、ファミリー・サポート・センターのまかせて会員さんなど多くの方がおもちゃの製作に関わってくださり、事業への理解が深まり協力者が増えています。来年度もこの事業が継続発展するように努力してい

きたいと考えます。

- ・この事業はプレぴよひろばに連動しています。プレゼントをきっかけに来館した妊婦がひろばの参加を通して、子育て支援センターとのつながりや妊婦どうしのつながりを深め、出産や育児を少しでも安心してできるようにできればと考えています。

(5) 情報提供事業

- 情報誌「かめおかつひろば おたより」の発行
  - ・毎月1回（年間 12回）
  - ・発行部数 毎号200部
- ホームページによる広報
- Face book による子育て支援センターの事業情報の提供

(6) 子育てサークル・サロン支援

- ・実施団体数 : 11団体
- ・開催日数 : 延回194回
- ・参加人数 : 延3001名

(7) チャイルドシート貸出事業

○平成28年度チャイルドシート貸出台数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
平成28年度	貸出台数	7	2	5	10	9	5	9	7	15	7	3	6	85	7.08

※ゴールデンウィーク前の4月後半、夏休み～お盆にかけての7月後半～8月、年末年始の12月に家族の帰省中に利用する方が多く、貸出台数が増加している傾向があります。

(8) ファミリー・サポート・センター事業

ア. 相互援助活動事業

子育ての援助を受けたいおねがい会員と、援助を行いたいまかせて会員により会員組織をつくり、会員相互の信頼関係のもとに、地域の人が子育て家庭を支援していきます。ファミリー・サポート・センターは、安心して子育てができる環境作りをサポートしています。

○登録会員数

	全 会 員 数 (人)		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
おねがい会員	511	498	493
まかせて会員	170	183	208
両方会員	72	74	73
合 計	753	755	774

おねがい会員登録数は少しずつ減少しています。まかせて会員登録数は増えていますが、実働件数にはつながりにくいです。

イ、相互援助活動件数

○実績

(単位：件)

	活 動 内 容	26年度	27年度	28年度
1	保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	44	108	59
2	保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	245	130	101
3	保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	31	3	0
4	小学校の放課後の預かり	19	2	0
5	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	1,023	1,003	1,527
6	学童保育の帰宅後の預かり	2	8	0
7	子どもの病気の援助	1	7	1
8	子どもの習い事等の場合の援助	427	689	614
9	保育施設・学校など休みの時の援助	39	22	19
10	保育施設など入所前の援助	2	0	0
11	保護者等の短時間・臨時就労の場合の援助	25	28	9
12	保護者等の求職活動中の援助	2	0	0
13	保護者等の冠婚葬祭による外出・他の子どもの学校行事の場合などの援助	7	4	2
14	保護者等の外出の場合の援助	14	4	19
15	保護者等の病気、その他急用等の場合の援助	31	2	31
16	その他	316	290	134
合 計		2,228	2,300	2,516
新 会 員 登 録 数	おねがい会員	50	47	48
	まかせて会員	13	5	18
	両方会員	0	1	6
	合 計	63	53	72
マッチング件数		82	60	69

○成果と課題

- ・今年度は相互援助活動件数、新規会員登録者が増え、サポートを必要とする家庭が増えていきます。特に学童保育の迎え及び帰宅後の預かりが増えました。今年度はおねがい会員の依頼に対応できましたが、依頼が多様化しており、まかせて会員の高齢化が進んでいるため、まかせて会員として活動できる人材確保がこれからの課題であると考えます。

ウ、会員活動実績

○交流会実績

	実 施 日	参加人数	内 容
全体交流会 「おたのしみ 交流会」	7月3日(日)	148人	・宝探し、作って遊ぼうコーナー、魚釣りコーナー、パラバルーンコーナーで遊びました。 ・ゲストの中西 実さんと一緒に歌を歌ったり、子育てについての話を聞きました。
会員交流会 「料理交流会」	12月9日(金)	8人	講師：亀岡市役所子育て支援課栄養士 長瀬 直子さん ・季節の野菜や乾物を使って料理を作り、会員同士交流を深めました。

会員交流会 「ヨガ教室」	2月15日(水)	9人	講師：亀岡市社会福祉協議会課長 濱中 一美さん ・心身ともにリフレッシュできるヨガを教えてもらいました。 ・会員同士グループに分かれてファミサポの活動について話し、交流を深めました。
合 計		165人	

○成果と課題

①おたのしみ交流会

- ・まかせて会員は「まかせてスマイルさん」として、事前に集まりコーナー遊びの準備をしてもらいました。作業をする中で会員同士の話も盛り上がり交流もできました。当日は数人ずつでコーナー遊びを担当してもらい、交流会を盛り上げていただきました。
- ・おねがい会員は家族連れで参加され、会員以外の方の参加も多く、ファミサポの活動の内容を知っていただくのには、とても良い広報の場となりました。
- ・ファミサポ会報誌、ファミサポホームページ、亀岡市広報誌「キラリ☆亀岡」などで広く広報することで、たくさんの参加がありました。

②料理交流会

- ・添加物や着色料を使わない体にもやさしいメニューを一緒に作る事で、会員同士の距離も近くなり、世代を超えた交流もできました。

③ヨガ教室

- ・体にやさしいヨガを通して、体を動かすことの心地よさを感じることができました。
- ・ヨガのあとで、少人数に分かれて交流会をし、まかせて会員から活動の様子を話していただきました。新しく会員になられた方もこれからの活動に向けてのイメージを持つことができました。

\*会員同士が会う機会が少ないので、いろいろな交流会を開催することで交流を深めることができました。来年度も自ら参加したくなる交流会にしていきたいです。

○まかせて会員講習会実績

(単位：人)

講習会名	開催日	内 容	参加人数
第1回講習会	平成28年 6月3日(金)	説明会・登録会	7
		子どもの権利(人権)について	10
		子どもの安全と身近な事故の応急処置について	10
	6月7日(火)	子どもの発達、生活習慣と遊び ・集団託児をする前に ・まかせて会員として活動するために	11 10
子育て支援 ネットワーク事業	6月13日(火)	普通救命講習会AED	8
第2回講習会	9月5日(月)	説明会・登録会	8
		子どもの権利(人権)について	8
		子どもの安全と身近な事故の応急処置について	8
	9月6日(火)	子どもの発達、生活習慣と遊び ・集団託児をする前に ・まかせて会員として活動するために	4 5

子育て支援 ネットワーク事業	9月12日(月)	普通救命講習会AED	5
レベルアップ講習会	9月27日(水)	交通安全教室	9
フォローアップ講習会	11月8日(火)	「子育ての輪」おもちゃ作り	7
第3回講習会	平成29年 1月23日(月)	説明会・登録会	6
		子どもの権利(人権)について	8
		子どもの安全と身近な事故の応急処置について	8
	1月24日(火)	子どもの発達、生活習慣と遊び ・集団託児をする前に ・まかせて会員として活動をするために	10 10
子育て支援 ネットワーク事業	1月27日(金)	普通救命講習会AED	9
合 計			161

## ○成果と課題

### ①まかせて会員講習会

- ・今年度のまかせて会員講習会は例年に比べてたくさんの方が受講をしてくださり、会員増加につながりました。
- ・会員講習会では子どもの安全について・子どもの発達についてなど、まかせて会員として活動するうえで大事にしなくてはいけないことを詳しく知ることができました。
- ・すでに会員になっておられる方を再受講にお誘いし、新しく援助活動につなげることができました。
- ・講習会を修了された会員には受講時の意欲を損なわないように、できるだけ早い段階で事業時の託児や相互援助活動に入ってもらいました。
- ・受講者は増えているのですが、実活動に繋がらないのが課題です。

### ②レベルアップ講習会（交通安全教室）

- ・子育て支援センターとの共催事業とし、子育てルーム内で実施しました。ルーム利用者にもファミサポの仕組みを宣伝することができ、大きな広報の効果がありました。
- ・交通安全教室では身近な車の事故の事例や道路の歩き方などを学び、交通安全に対する意識の高まりがみられました。
- ・交通安全についての興味・関心はあるものの、仕事などの関係で講習会に参加できる会員が少ない事が課題です。

### ④ フォローアップ講習会（「子育ての輪」おもちゃ作り）

- ・子育て支援センター事業として今年度から始まった「妊婦来館事業」の内容を知り、「子育ての輪」のおもちゃ作りをしました。より多くの人に「妊婦来館事業」について知ってもらえたことは大きな成果です。作業をしながら自分の子育てについての話をしたり、まかせて会員としての活動の様子などを話し、和気あいあいとした雰囲気で行うことができました。

## 11. 第29回市民福祉のつどい～つながりあおう 地域の輪！かめおかの輪！～

### (1) 内容

#### ◇オープニングセレモニー

手話コーラス「四季の会」(ふれあいフェスティバル)

#### ◇開会式

- ・表彰(亀岡市社会福祉協議会)

市社協から地域福祉の向上に功績のあった方々に対して表彰及び感謝状を贈呈しました。

会長表彰

個人4名

感謝状贈呈

2団体

#### ◇アトラクション

- ・盲導犬デモンストラーション(国際ソロプチミスト亀岡・関西盲導犬センター)
- ・マジックショー(平成ヨメ学)
- ・和太鼓演奏(和太鼓クラブ「DON舞」)
- ・丹波音頭・これから音頭(亀岡市老人クラブ連合会)
- ・子どもたちによる「ダンスパフォーマンス」(PARTY BOX◆DANCE)
- ・MESSAGE SONG 心で聴いて感じて・・・ありのままを見てほしい(4 disabilities)

#### ◇1階 ロビーギャラリー

ボランティア活動紹介コーナー他・喫茶コーナー(ボラ連)

福祉の店(亀岡福祉会・太陽共同作業所・母子寡婦福祉会)

ワークスおーい・たのしくはたらく・ソロプチミスト)

福祉なんでも相談(社会福祉士会)・里親相談(家庭支援総合センター)

認知症啓発・相談(オレンジロードつなげ隊)

デイ部会合同作品展(デイ部会)

車椅子貸出、集めておくるボランティア(市社協)

生きがい活動教室作品展示・亀岡市内サロンマップ

「いけばな・リサイクルアート」ブース(施設協)

**模擬店** ○ 焼きそば・飲み物(亀岡商工会議所女性会)

うどん(市子連)

たこせんべい(亀岡友愛園)

亀岡料飲連合会 綿菓子(支援センター圭)

#### ◇1階 コンベンションホール

チャリティーバザー(亀岡市民生委員児童委員協議会)

#### ◇1階 日本庭園前

こども広場【遊びのコーナー】(ボーイ・ガールスカウト)

#### ◇工作室

わくわくふれあい広場 帽子作り(更生保護女性会)

伝承あそびコーナー(市老連)

◇創作室

リトミック・ふれあい広場（児童部会）

◇ふれあいプラザ

子育て支援センター

ファミリーサポートセンター紹介

災害ボランティアセンター

避難時のグッズ展示・非常食体験コーナー（時間限定）

◇ふれあいプラザ前

スタンプラリー景品（ポップコーン）交換場所（地区社会福祉協議会）

◎スタンプ設置場所：受付・子ども広場・2階生活文化展前

◇ふれあいプラザ内世代間交流室

コミュニティカフェ：のんびり

◇お楽しみ抽選会

（2）実行委員会の開催

・開催回数 2回（平成28年8月30日（火）・12月12日（月））

・構成団体 45団体

（順不同）

亀岡市民生委員児童委員協議会  
亀岡市社会福祉施設協議会  
亀岡保津川ライオンズクラブ  
亀岡市身体障害者福祉協会  
亀岡ボランティア連絡協議会  
日本ボーイスカウト亀岡第1団  
ガールスカウト京都第57団  
亀岡市障害児者を守る協議会  
亀岡市子ども会育成連絡協議会  
亀岡スポーツ推進委員会  
亀岡デイ部会  
京都府家庭支援総合センター  
京都丹波オレンジロードつなげ隊  
（福）友愛会 亀岡友愛園  
（福）松花苑ワークスおーい

亀岡地区社会福祉協議会  
曾我部町地区社会福祉協議会  
保津町社会福祉協議会  
吉川町地区社会福祉協議会  
本梅町地区社会福祉協議会  
稗田野町地区社会福祉協議会  
篠町地区社会福祉協議会  
宮前町地区社会福祉協議会  
亀岡地区東部社会福祉協会  
東つつじヶ丘地区福祉協会  
南つつじヶ丘地区社会福会  
亀岡地区中部社会福祉協会  
京都社会福祉士会  
（福）信和福祉会 圭の家  
（福）亀岡福祉会

亀岡青年会議所  
亀岡商工会議所女性会  
亀岡地区更生保護女性会  
亀岡ライオンズクラブ  
亀岡ロータリークラブ  
亀岡中央ロータリークラブ  
国際ソロプチミスト亀岡  
亀岡市母子寡婦福祉会  
太陽共同作業所  
亀岡市老人クラブ連合会  
かめおか遊友ネットワーク  
亀岡料飲連合会  
（株）みんなではたらく  
亀岡市  
亀岡市社会福祉協議会

(3) 協賛先名簿 (順不同、敬称略)

No.	企業名	No.	企業名	No.	企業名
1	(協) 亀岡ショッピングセンターアミティ	38	朝日堂	75	(有) ケイフーズ
2	SAIWA I B r a i n s	39	とく涛	76	(有) サーティワン
3	犬甘野営農組合	40	十倉康吉商店	77	(有) 隅田農園
4	医療法人 吉岡整形外科医院	41	内藤印刷(株)	78	(有) 沼田モータース
5	魚留 河原町店	42	南丹清掃(株)	79	(有) 光嶋建築事務所
6	浦田歯科医院	43	西岸寺	80	(有) みずほファーム西別院店
7	大石酒造(株)	44	西台卓球場	81	(有) 雅
8	オクノ電化	45	農事組合法人 千ヶ畑営農組合	82	(有) 矢田商店
9	介護老人保健施設 陽生苑	46	能勢クリーニング(株)	83	(有) 楠新聞舗
10	カフェ たんぼぼ	47	パティスリーシェ・サンタ	84	(有) 山本乳販
11	亀岡金融会	48	開けゴマ・齋藤鍼灸院	85	(株) アイ・オーテック
12	亀岡商工会議所	49	藤村種苗園	86	(株) 石村組
13	亀岡石油商業組合	50	平壤亭	87	(株) ウィズ
14	亀岡電子(株)	51	ホームセンターコーナン亀岡大井店	88	(株) ウエダ
15	木曾精肉店	52	保津町自治会	89	(株) 魚留 大井本店
16	木村測量登記事務所	53	保津町社会福祉協議会	90	(株) 栄好工務店
17	京懐石 中ざわ	54	本家かまどや クニッテル店	91	(株) エス・アール・エム南丹支店
18	京都信用金庫亀岡支店	55	マインクラフト	92	(株) カーショップ・ナカイ
19	京都タクシー(株)	56	前田興業株式会社	93	(株) コクボ
20	京都農業協同組合	57	薪窯パンふくくる	94	(株) 三煌産業
21	京都北都信用金庫亀岡支店	58	松井 春樹	95	(株) 親愛
22	さか井食堂	59	マルホン自動車(株)	96	(株) ダスキン 双和
23	サラダ館 篠店	60	圓山縫製	97	(株) 天声社
24	三究プリント	61	マンマル産業(株)	98	(株) ビー・ネクスト
25	塩武	62	矢田石油(株)	99	(株) 平和堂 アルプラザ亀岡
26	篠田直明税理士事務所	63	八千代ケアサポート(株)	100	(株) 宮本屋
27	新京都タクシー(株)	64	山内スポーツ	101	(株) 八百捨
28	すみや 亀峰庵	65	山田精巧社	102	(株) ツルバーノステーブル
29	税理士法人 平田会計事務所	66	加地藤仏壇店	103	(株) 松園荘
30	竹岡醤油(株)	67	夢コスモス園プロジェクト実行委員会	104	(株) マツモト
31	田中紙店	68	龍潭寺	105	(株) やまざき商店
32	谷石材店	69	渡辺製菓(株)	106	(株) 栄広堂
33	玉川楼(株)	70	湯の花温泉観光旅館協同組合	107	(株) 小城製菓
34	タマテル 吉村 信	71	(有) 楠新聞舗南丹旅行	108	(株) 小林製作所
35	中華料理 広東	72	(有) オビヤ商事	109	(株) 前平電機
36	中国料理彩桂	73	(有) 関西整備車検センター	110	匿名 2 件
37	天然酵母パン グリム	74	(有) 倉昇工務店		

## 12. 共同募金事業

○赤い羽根共同募金「募金機能付き自動販売機設置」

売上げの一部が共同募金会の募金となり、地域の地域福祉に還元される自動販売機の設置を推進。

市内設置場所 ガレリアかめおか（余部町） 3台  
 東部文化センター（篠町） 1台  
 亀岡市シルバー人材センター（追分町） 1台（平成29年2月6日設置）

○ 助成金実績

各事業分野		対象事業	目的等	助成団体数	助成額
特別枠		本会が特に福祉効果が高いと認めた福祉推進事業		4 団体	550,000 円
住民全般			災害見舞金支給事業		20,000 円
1 地域を知り、住民参加を促す	A	福祉マップの作成・更新	支援を要する方や地域内の福祉関係施設・機関の地図の作成。	0 団体	0 円
	B	わたしたちの周りの福祉問題を考える会の実施	各町全体または各区ブロック毎で、地域の福祉問題等を話し合う。当事者（一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等）毎に懇談会の実施。	1 団体	100,000 円
	C	アンケートの実施などによる活動調査	当事者（一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等）の生活課題アンケート等により把握する。	1 団体	50,000 円
	D	新たな担い手（ボランティア）の養成・組織化	福祉やボランティア活動に興味・関心のある地域住民を募り、ボランティア入門講座の実施や組織化をおこなう。	3 団体	235,000 円
2-① 学びあう活動	A	地域福祉、福祉課題別の理解促進のための研修	役員やボランティア、地域住民等を対象に地域福祉や高齢や障害、子育て等に関する研修会を実施する。	4 団体	230,000 円
	B	介護教室や手話教室、車いす講習等の実技講習	役員やボランティア、地域住民等を対象に当事者への理解を深めるための実技講習を実施する。	0 団体	0 円
	C	まちづくり点検調査などの体験学習	役員やボランティア等が様々な体験グッズ等を用いて、地域内を廻ることにより高齢や障害についての理解を深めるとともに、結果を地域住民に発信する。	0 団体	0 円
	D	子供達と地域をつなぐ福祉教育	地域のサロンに、子どもたちが出向き高齢者や障がい者との交流活動や、学校の空き教室を活用した出前カフェの実施、また、地域の福祉マップ作りを作成することにより自分のまちを知り、理解するきっかけとなるようにする。	13 団体	383,000 円
2-② ふれあう活動	A	当事者の交流活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等、当事者同士の交流を図る。	18 団体	986,784 円
	B	当事者の交流活動地域行事参加促進	高齢者や障がいのある人等が地域行事に気軽に参加できるように、呼びかけや行事内容を工夫する。	5 団体	246,930 円

	C	福祉施設との交流活動	地域にある福祉施設との交流を深め、施設行事等への協力をおこなったり、地域活動の充実を図っていくために連携・協働をすすめる。	2 団体	45,000 円
2-③ 支えあう 活動	A	見守り訪問活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等を定期的に訪問し見守るとともに、相談を受けたり必要に応じて関係機関へつなぐ活動。	0 団体	0 円
	B	居場所づくり活動	小地域で行う高齢者、子育て等のサロン活動。また、サロン活動リーダー・スタッフとして市内各地で支援する活動。	25 団体	1,998,397 円
計				76 団体	4,845,111 円

### 13. 歳末たすけあい運動の実施

#### (1) 協力団体

- ・ 亀岡市自治会連合会
- ・ 亀岡ボランティア連絡協議会
- ・ ガールスカウト日本連盟京都府支部第57団
- ・ 亀岡市老人クラブ連合会
- ・ 亀岡市社会福祉施設協議会
- ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会
- ・ 日本ボーイスカウト京都連盟亀岡第1団
- ・ 亀岡市母子寡婦福祉会

(順不同)

#### (2) 募金の使途

項 目	内 容	金 額 (円)
在宅 (見舞金)	1,001件	5,005,000
施設配分	みかん箱48箱・タオル・石鹸・ティッシュペーパー・トイレトペーパー	129,600
年末年始事業配分	各自治会・地区社協・地区民児協	2,248,000
歳末たすけあい運動啓発	広報誌掲載	185,457
事務費	印刷製本、消耗品等、団体協力費	395,762
次年度繰越金	共同募金会へ	200,690
合 計		8,164,509

※事務費・次年度繰越金については、共同募金会会計にて対応

#### ○在宅 (見舞金) の内訳

配 分 対 象	対象人数 (人)	配分単価 (円)	金 額 (円)
寝たきり・認知症高齢者	110	5,000	550,000
重度障害児者	793		3,965,000
交通遺児	10		50,000
被爆・公害患者	17		85,000
その他支援を必要とする家庭	71		355,000
合 計	1,001		5,005,000

○配分先施設の内訳

・青葉学園	・かめおか作業所	・第二亀岡園
・花ノ木医療福祉センター	・第二かめおか作業所	・第二亀岡園ケアハウス
・松花苑かしのき	・第三かめおか作業所	・亀岡友愛園（軽費老人ホーム）
・ワークスおい	・太陽共同作業所	・亀岡友愛園（特別養護老人ホーム）
・圭の家	・亀岡園	・関西盲導犬協会盲導犬訓練センター
・ケアハウス朝野	・こもれび	・陽生苑
・亀岡たなばたの郷		

(3) 募金収入

項 目	金 額 (円)
地 域 募 金	7,000,206
篤 志 者 寄 付 金	765,751
街 頭 募 金	271,153
小 計	8,037,110
前年度繰越金	127,399
合 計	8,164,509

○地域募金の内訳

町 別	金 額 (円)	町 別	金 額 (円)
亀岡東部地区	576,800	大 井 町	687,500
亀岡中部地区	504,150	千代川町	605,900
亀岡西部地区	510,890	馬 路 町	153,200
東別院町	168,400	旭 町	84,900
西別院町	101,600	千 歳 町	127,900
曾我部町	331,700	河原林町	96,400
吉川町	75,000	保津町	202,000
菫田野町	289,900	篠 町	1,226,500
本梅町	176,800	東つつじヶ丘	159,800
畑野町	109,166	西つつじヶ丘	315,700
宮前町	152,700	南つつじヶ丘	270,500
東本梅町	72,800	合 計	7,000,206

○篤志者寄付金内訳（順不同・敬称略）

篤 志 者 氏 名	金 額 (円)
中村 功	10,000
杉原 秀子	4,515
西田 廣道	3,457
玉記 十紀人	1,000
亀岡金融会	20,000

J A京都亀岡女性部 八重桜の会	50,000
亀岡建設業協会	10,000
河原林 正昭	10,000
亀岡市PTA連絡協議会	124,995
湯の花温泉観光旅館協同組合	10,000
天理教亀岡大教会	11,000
協同組合亀岡ショッピングセンター アミティ	10,000
亀岡ロータリークラブ	5,000
亀岡中央ロータリークラブ	5,000
社交ダンスサークルもみの木会	20,000
Hair Face SAIWAI Brainns	11,174
川東地区佛教会	150,000
宗教法人 大本 広報渉外課	67,282
亀岡商工会議所	20,000
亀岡市民生委員児童委員協議会	197,000
社協職員	23,300
ふれあいプラザ募金箱	2,028
合 計	765,751

(4) 物品寄付 (敬称略)

氏 名	寄 付 品
亀岡市PTA連絡協議会	タオル：572枚、石鹸：564個 ティッシュペーパー：101箱 トイレットペーパー：16ロール
明治安田生命相互会社 亀岡営業所	タオル：102本

(5) 年末年始事業

町 名	事業実施者	内 容	対 象 者	参加人数 (人)
亀 岡 地 区	亀岡地区東部社会福祉協議会	交流会(講演、ゲーム等)	ひとり暮らしの高齢者	36
	亀岡地区中部社会福祉協議会	交流会(食事会、講演等)	ひとり暮らしの 65歳以上の高齢者	70
	下矢田町5自治会	講演	ひとり暮らし高齢者	25
	亀岡地区西部自治会	昼食をしながらの懇談・お楽しみ 会等	ひとり暮らしの 高齢者	66
東 別 院 町	東別院町自治会	みかん及び干し柿の配布	ひとり暮らしの 70歳以上の高齢者	48

西別院町	西別院町自治会	おせち料理配食事業 児童図書カードの配布	ひとり暮らし高齢者 母子父子家庭	25
曾我部町	曾我部町自治会	独居老人、父子母子家庭世帯への 配食サービス	ひとり暮らし高齢者 母子父子家庭	98
吉川町	吉川町自治会	新米配布 (5 kg)	ひとり暮らしの 75歳以上の高齢者	25
穂田野町	穂田野町地区社会福祉協議会	寄せ植え講習会、もちつき大会、 友愛訪問	全町民	320
本梅町	本梅町地区社会福祉協議会	もちつき大会	ひとり暮らし高齢者 母子父子家庭	118
宮前町	宮前町地区社会福祉協議会	おせち料理配食事業、友愛訪問	ひとり暮らし高齢者	36
東本梅町	東本梅町自治会	高齢者と子供の世代間交流	全町民	230
大井町	大井町自治会	年末用品 (のりセット) の配布、 友愛訪問	ひとり暮らしの 70歳以上の高齢者	159
千代川町	千代川町自治会	親睦会 (気功、ゲーム等)	高齢者・要支援高齢者	140
馬路町	馬路町自治会 馬路町民生委員児童委員協議会	おせち料理配食事業	ひとり暮らしの 70歳以上の高齢者	29
旭町	旭町自治会	高齢者と児童の交流	高齢者全般 児童・ボランティア	123
千歳町	千歳町自治会	独居老人宅訪問活動 寄せ植えとみかん配布	75歳以上の高齢者 独居高齢者世帯	59
河原林町	河原林町自治会	正月用花 (寄せ植え) づくり	85歳以上又はひとり 暮らし高齢者	74
保津町	保津町社会福祉協議会	年末友愛訪問 (記念品とお見舞 等)	独居高齢者・寝たきり高 齢者、障害者、低所得者	155
篠町	篠町自治会	友愛訪問 (もちと挨拶状)	民生児童委員訪問家庭 高齢者支援必要な家庭	420
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘自治会	もちつき交流会、もち・みかんの 配布	75歳以上高齢者 新生児家庭	450
西つつじヶ丘	西つつじヶ丘自治会	もち配布・家庭訪問。安否確認	ひとり暮らし高齢者 母子父子家庭	140
南つつじヶ丘	南つつじヶ丘自治会	もち配布、新春交流会	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	112
合計	23団体			2,958